

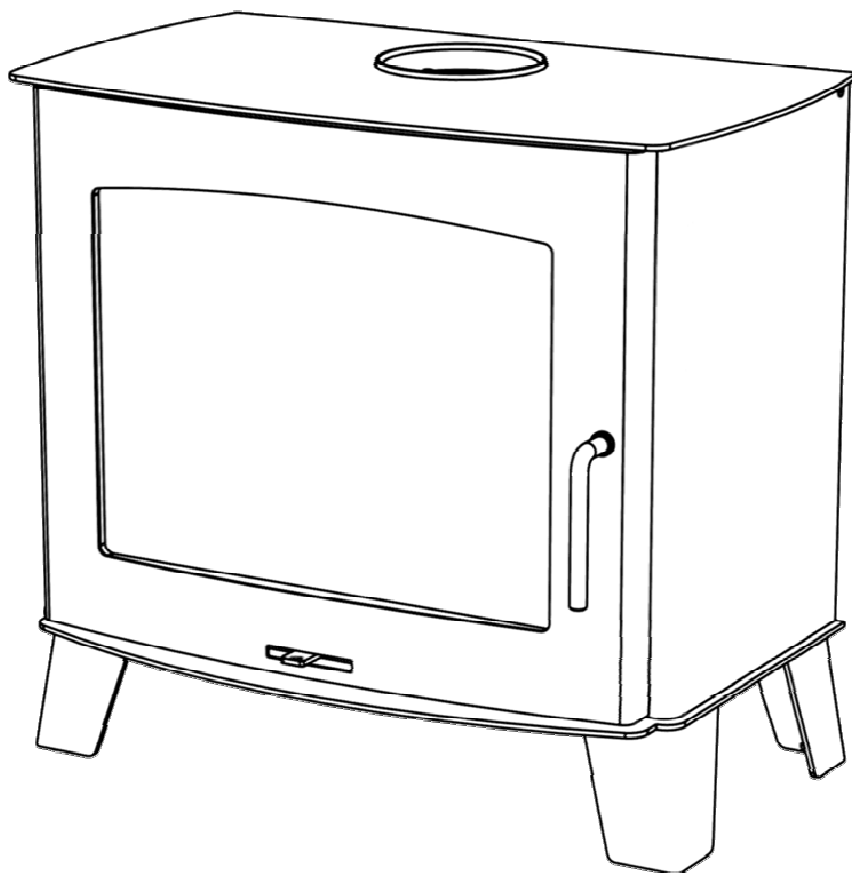


Wood Stove

# LS-750

## 取扱説明書

※この取扱説明書は大切に  
保管してください。



### 詳 細

本体サイズ： W750 x D473 x H707mm

材質： 鋼板

重量： 135Kg

煙突径：  $\Phi$ 150mm

煙突位置： 上部、後部

燃焼方式： 2次燃焼式、輻射式

使用燃料： 乾燥薪

最大薪長さ： 550mm

最大熱出力： 約18.0kW (MAX)

暖房面積： 約50～60坪

付属品： 非接触型温度計 MT-7

ハゼ折り煙突用アダプター

天板フタ

生産国： 中国

商品コード： 501025750

JANコード： 4934756104544

# はじめに

このたびは弊社薪ストーブLS-750（以下LS-750または薪ストーブ）をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、安全・快適な薪ストーブライフをお楽しみくださいませ。

また、この取扱説明書には薪ストーブを末長くご使用いただくために重要な情報が記載されております。取扱説明書は大切に保管してください。

## ■ 取扱説明書内の表示について

|                                                                                              |                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
|  <b>警告</b>  | この表示は、記載事項をお守りいただかない場合、人が死亡または重傷を負う危険性、火災の危険性が想定されることを示します。    |
|  <b>注意</b> | この表示は、記載事項をお守りいただかない場合、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されることを示します。 |
|           | この表示は、禁止されていることを示します。                                          |
|           | この表示は、必ず守っていただきたいことを示します。                                      |

※本取扱説明書内で記載の寸法はすべてミリメートル（mm）となっています。



# 目 次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| はじめに .....              | 2  |
| 目次 (本ページ) .....         | 3  |
| 取扱い上のご注意 .....          | 4  |
| 各部の名称 .....             | 6  |
| 正しいLS-750の設置 .....      | 8  |
| 正しい煙突の設置 .....          | 13 |
| 薪ストーブの操作と焚き方 .....      | 18 |
| メンテナンス .....            | 23 |
| 煙突掃除 .....              | 23 |
| 耐熱ガラスのクリーニング .....      | 25 |
| ガスケットロープ、耐熱ガラスの交換 ..... | 27 |
| 炉内レンガの交換 .....          | 30 |
| 本体のクリーニング .....         | 32 |
| 困ったときのQ & A .....       | 33 |



## 取扱い上のご注意



### 警告



薪ストーブ・煙突の近くにスプレー缶やガソリントank、消火器等、破裂・爆発・引火のおそれがあるものは絶対に置かない。



薪ストーブ・煙突に水等の液体をかけたり、紙や衣類などの可燃物を乗せない。  
薪ストーブ・煙突に紙や衣類などの可燃物が接触する可能性がある状況を作らない。



薪以外の燃料使用禁止。  
(薪とは、焚き火用に用意された木、枝、木材のことを指します。)



薪ストーブの使用時、薪ストーブの扉を開けたままその場を離れない。



地震等の災害発生時には使用しない。



薪ストーブの使用時、薪ストーブや煙突を移動させない。



燃焼灰は可燃性の容器に入れないこと。



燃焼中の薪を薪ストーブから取り出さないこと。



薪ストーブは必ず煙突の設置が必要です。  
煙突は設置基準や法令を遵守して適切に設置してください。



薪ストーブ・煙突と周囲の可燃物とは十分な離隔を設けてください。



薪ストーブ使用中は定期的に換気を行い、お部屋に新鮮な空気を取り込んでください。



薪ストーブ・煙突周りの可燃物が高温にならないよう適切に遮熱を行ってください。



定期的に煙突掃除を行ってください。  
高所作業になる場合は命綱を装着するなど安全には十分注意してください。



薪ストーブ使用中は専用の温度計を用いて薪ストーブ等の温度を監視してください。

## 注意

- |                                                                                     |                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
|    | 脂分（ヤニ）を多く含む薪は使用しない。<br>薪ストーブや煙突を傷めたり、ススやタールが発生する原因になります。                          |
|    | 湿った薪は使用しない。<br>ススやタールが発生する原因になります。                                                |
|    | 塩分、硫黄、接着剤等金属の腐食成分を含む薪の使用禁止。製品破損の原因になります。<br>（例：流木、海岸防風林、硫黄消毒された木、集成材、合板、防腐処理材 等）  |
|    | 低気圧の環境（高地等）、負圧の環境（排気ファンが作動する室内等）では薪ストーブを使用しないでください。煙の逆流や燃焼不良等不具合の発生するおそれがあります。    |
|    | 薪ストーブ使用中は薪ストーブおよび煙突が大変熱くなります。<br>素手で触れたり、身体を接触させないでください。                          |
|    | 就寝時、外出時は薪ストーブが鎮火していることを確認してください。                                                  |
|   | 薪ストーブを移動する際は、床などが傷つかないように養生し、必要十分な人員または機材を用意し、安全に注意して作業を行ってください。                  |
|  | 薪ストーブや煙突の掃除を行う際、灰やスス等が舞うおそれがあります。<br>防塵用マスクやメガネ等を着用し、お部屋は適切に汚れ対策をしてください。          |
|  | 薪ストーブの部品等で指をはさんだり、手を切ったりしないようご注意ください。                                             |
|  | 薪ストーブは重量のある部品や鋭利な部品で構成されています。<br>作業時には軍手等を着用し、けがには十分ご注意ください。                      |
|  | 小さいお子様がいらっしゃる場合は、保護者の方がお子様の安全を確保してください。<br>薪ストーブ用フェンス（ストーブゲート）を設置するなど安全策を講じてください。 |
|  | 薪ストーブ用の消火器を設置する場合は <u>粉末消火器</u> をお求めください。<br>消火器は薪ストーブの近くには置かずに、十分距離を離して設置してください。 |

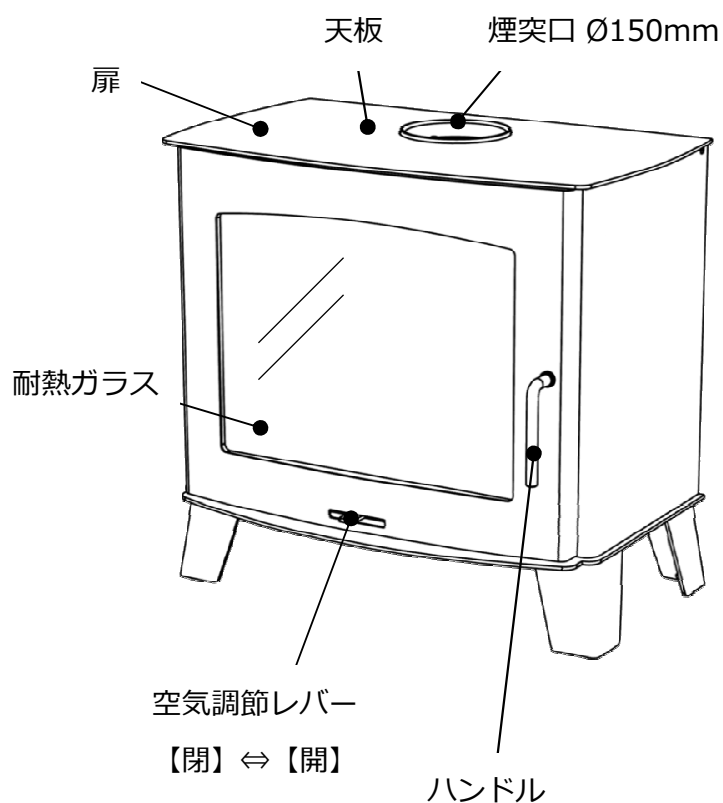
※ご注意事項に反して生じた損害について、弊社では一切の責任を負いかねます。

※煙やススなどによる建物その他の汚損、近隣トラブルの発生については弊社では責任を負いかねます。

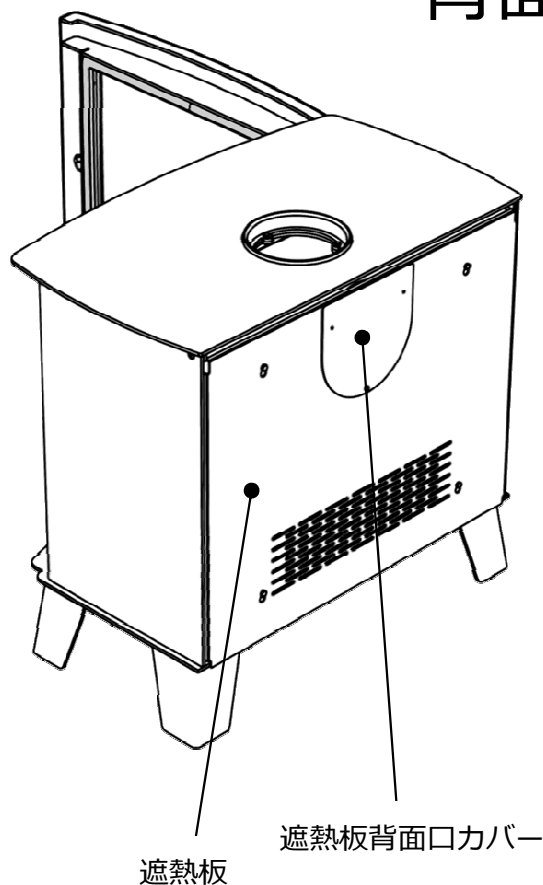
# 各部の名称

本取扱説明書では各部の名称を用いて取扱いの説明をいたします。  
あらかじめ名称をご確認ください。

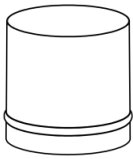
## 正面



## 背面



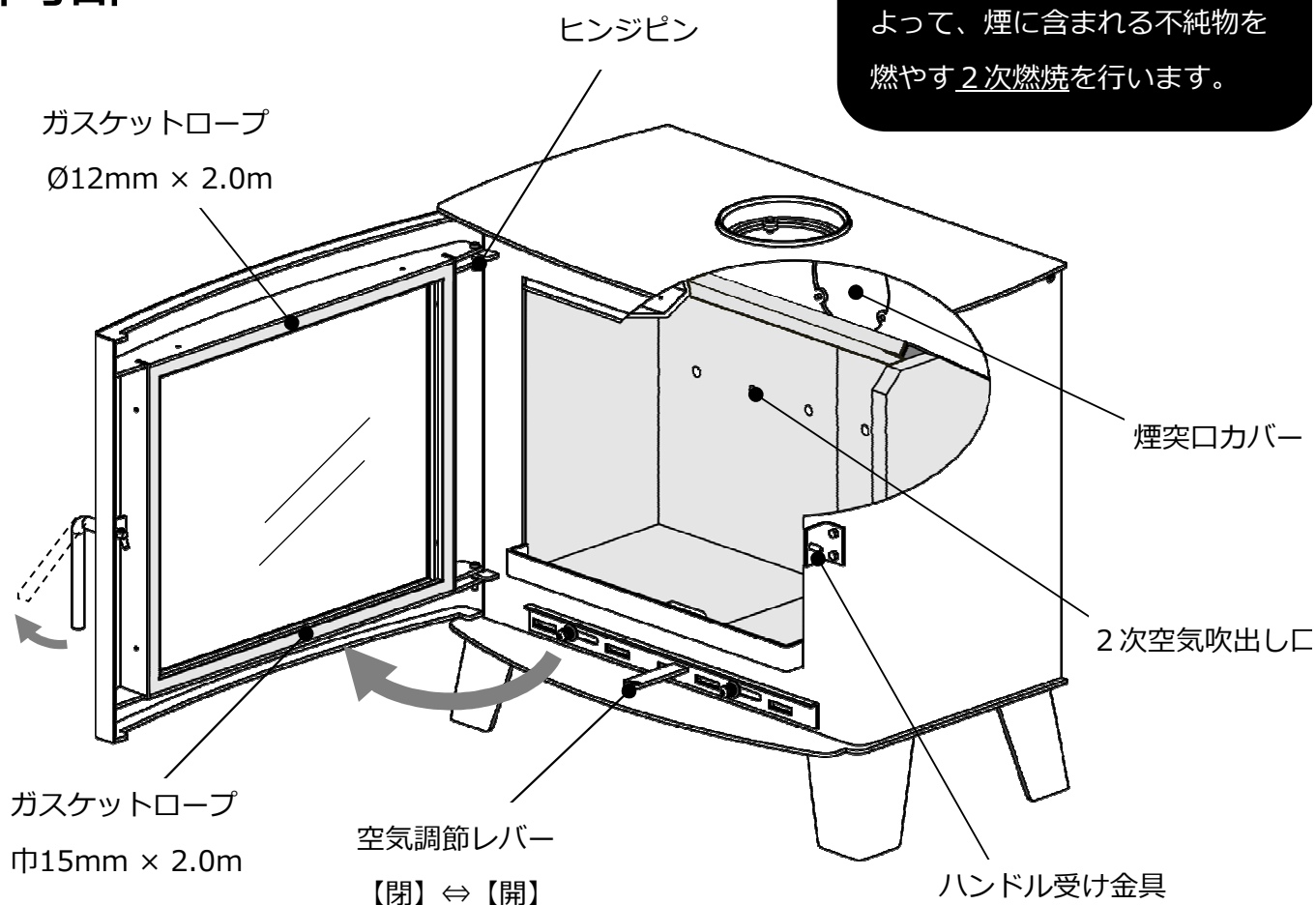
## 付属品

|                                                                                                                                                |                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p><b>天板フタ</b></p> <p>煙突を背面出しにしたとき天板にセットするフタ。</p>          |  <p><b>非接触温度計 MT-7</b></p> <p>ストーブや周囲の温度を測るための赤外線温度計。</p> |
|  <p><b>ハゼ折り煙突用アダプター</b></p> <p>ハゼ折り煙突を使用する際に煙突口に差し込みます。</p> |  <p><b>取扱説明書</b></p> <p>本紙です。</p>                         |

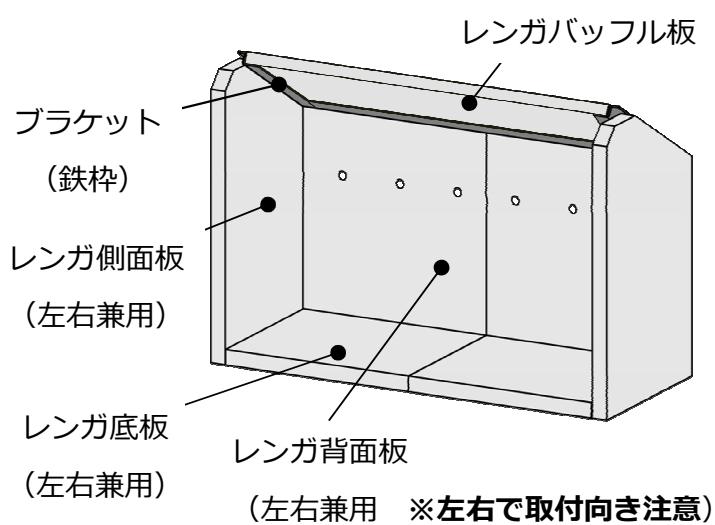
# 内部

## 2次燃焼システム搭載

2次空気吹出し口からの空気によって、煙に含まれる不純物を燃やす2次燃焼を行います。



## 炉内部品



※炉内レンガは薪ストーブの使用により変形・欠け・ひび割れが発生する場合がございますが異常ではございません。破損した場合は交換品（有料）をご用意しております。



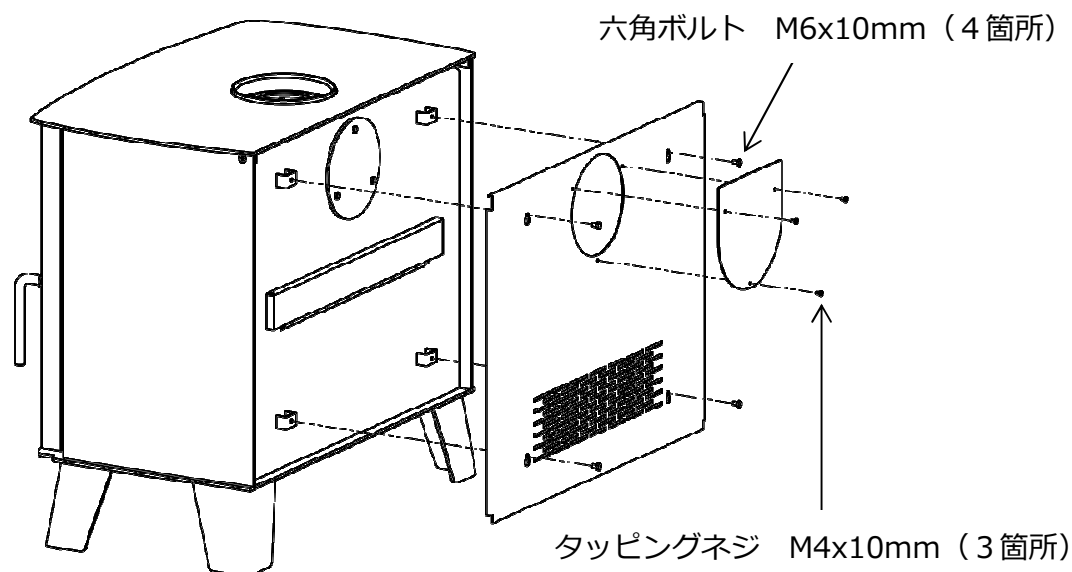
交換部品のお求めはホンマ製作所オンラインショッピングで！  
<https://www.honma-seisakusyo.jp>

# 正しいLS-750の設置

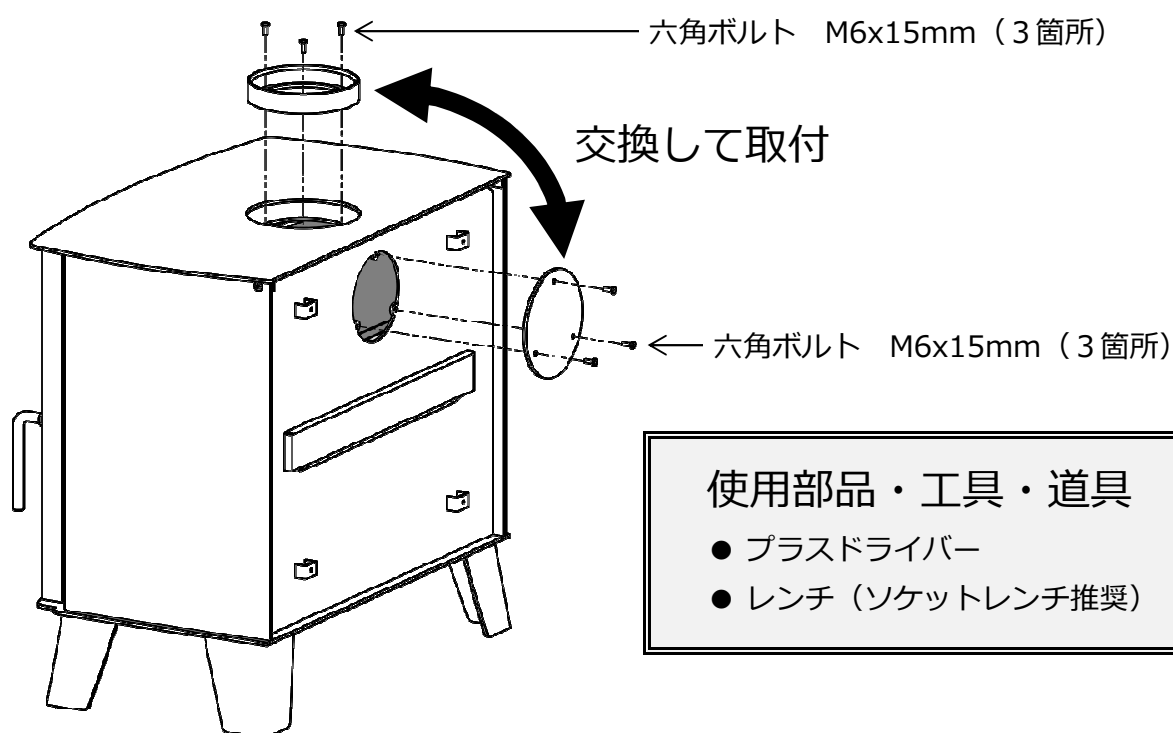
## STEP 1 煙突口の位置変更 ※必要に応じ

薪ストーブは既定では上部に煙突口が付いていますが、お好みにより煙突口を背面に変更することが可能です。背面煙突口で使用する際は次の手順で煙突口を付け替えてください。

### 1 遮熱板の取り外し



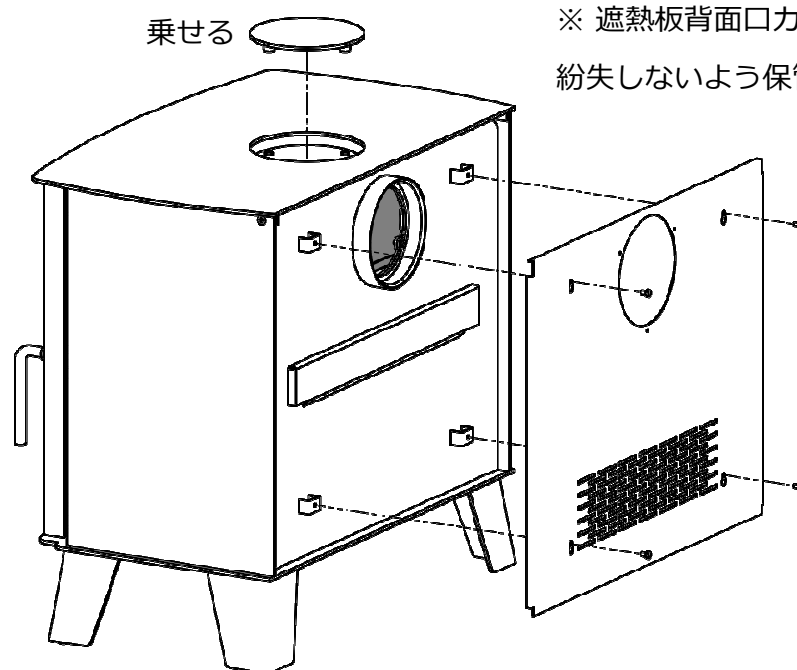
### 2 煙突口と煙突口カバーの交換取付け



#### 使用部品・工具・道具

- プラスドライバー
- レンチ (ソケットレンチ推奨)

### 3 遮熱板、天板フタの取付け

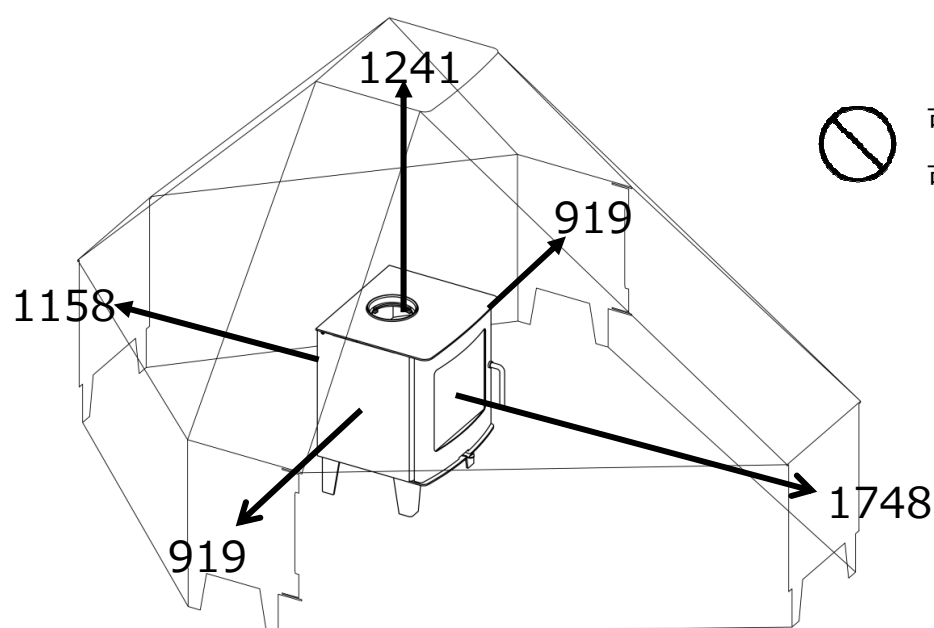


#### STEP 2 LS-750の可燃物燃焼部分の確認

LS-750本体周囲の高温となる範囲を可燃物燃焼部分といいます。

下記LS-750の可燃物燃焼部分内には可燃物がないようにしましょう。

範囲内に可燃壁等がある場合は、高温にならないよう有効に遮熱処理してください。



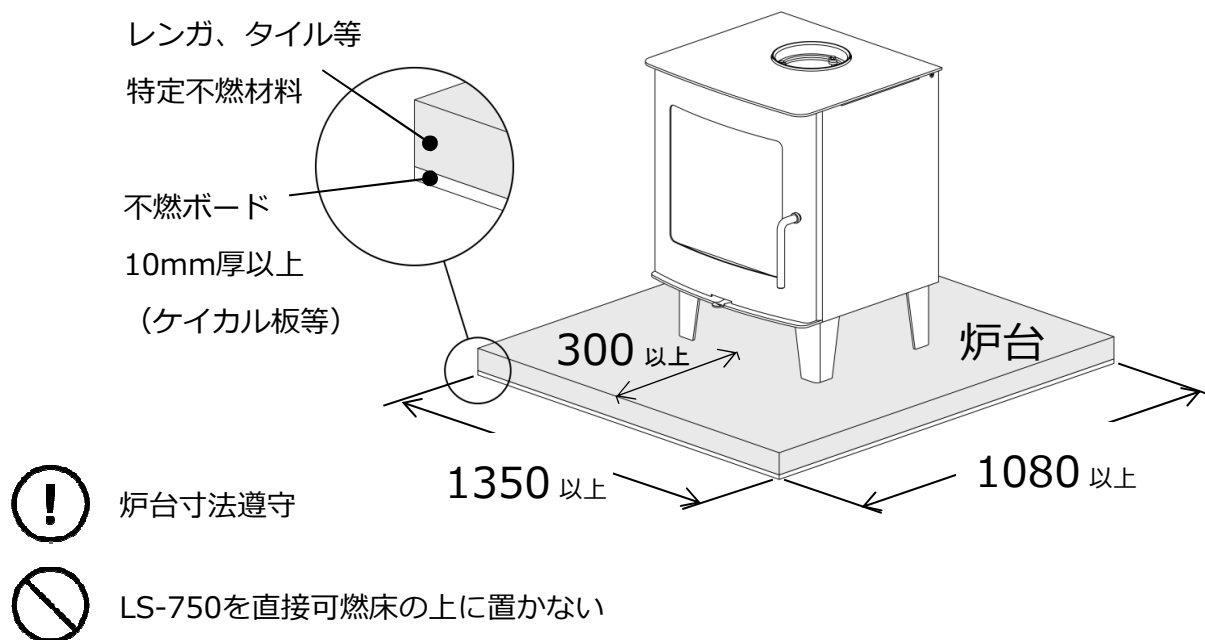
可燃物燃焼部分内に  
可燃物を置かない

### STEP 3 炉台の設置 ※LS-750を可燃床上に設置する場合

LS-750を可燃床（フローリング等）の上に直接置くことはできません。

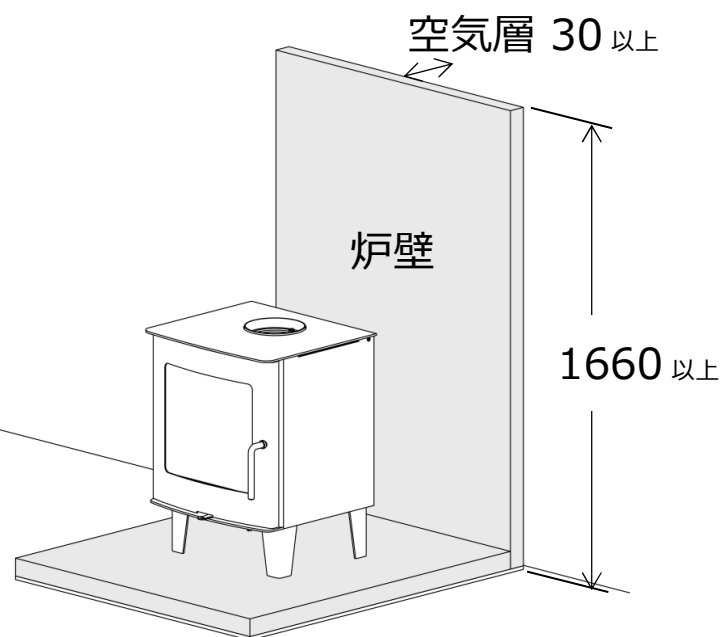
必ず不燃材料で炉台を製作してください。

床が不燃材料（コンクリート土間等）の場合は炉台の設置は不要です。



### STEP 4 炉壁の設置 ※LS-750を可燃壁の近くに設置する場合

LS-750の背後等に炉壁を立てることで、LS-750を可燃壁に指定距離まで近づけて設置することが可能になります。

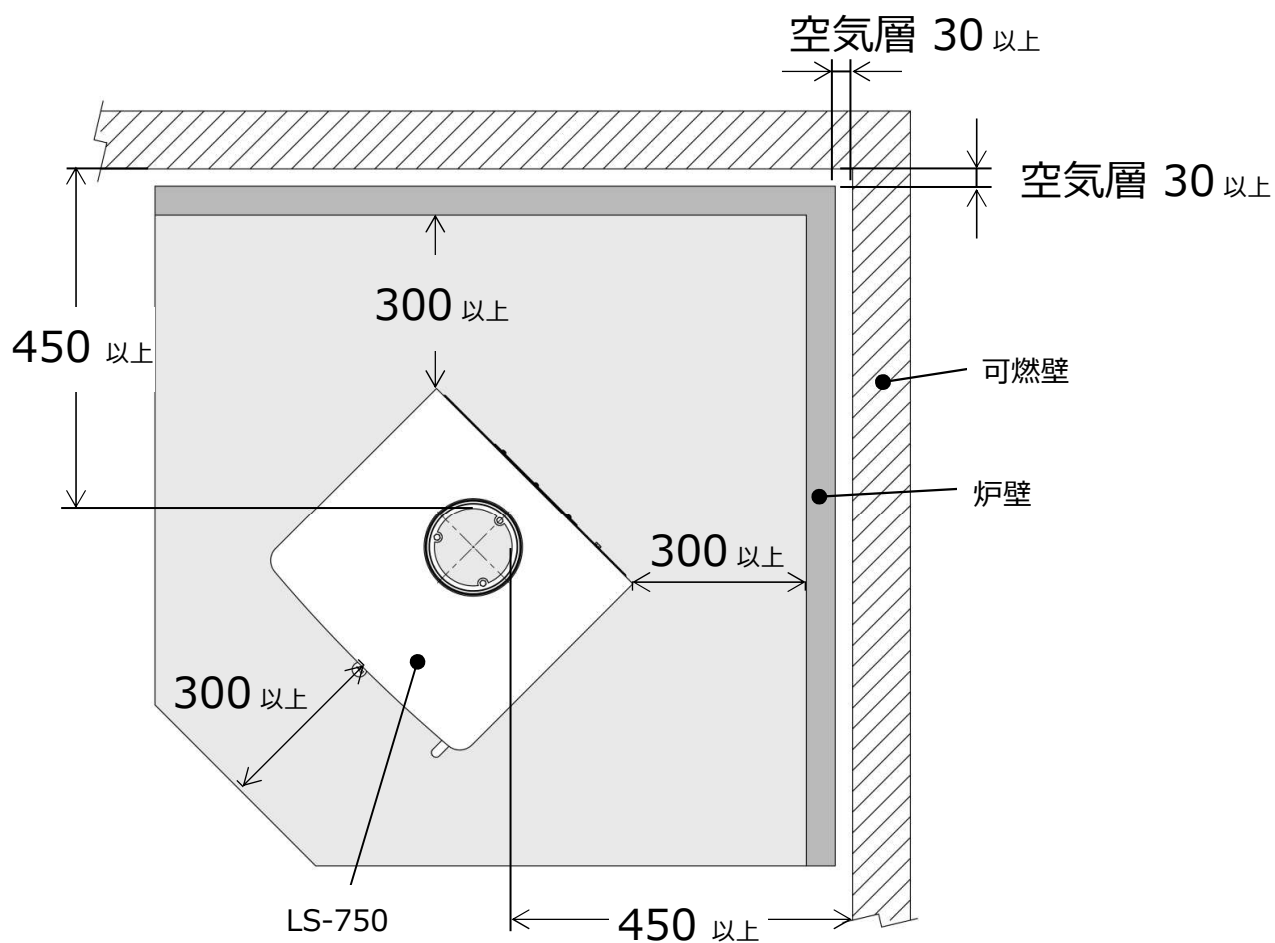
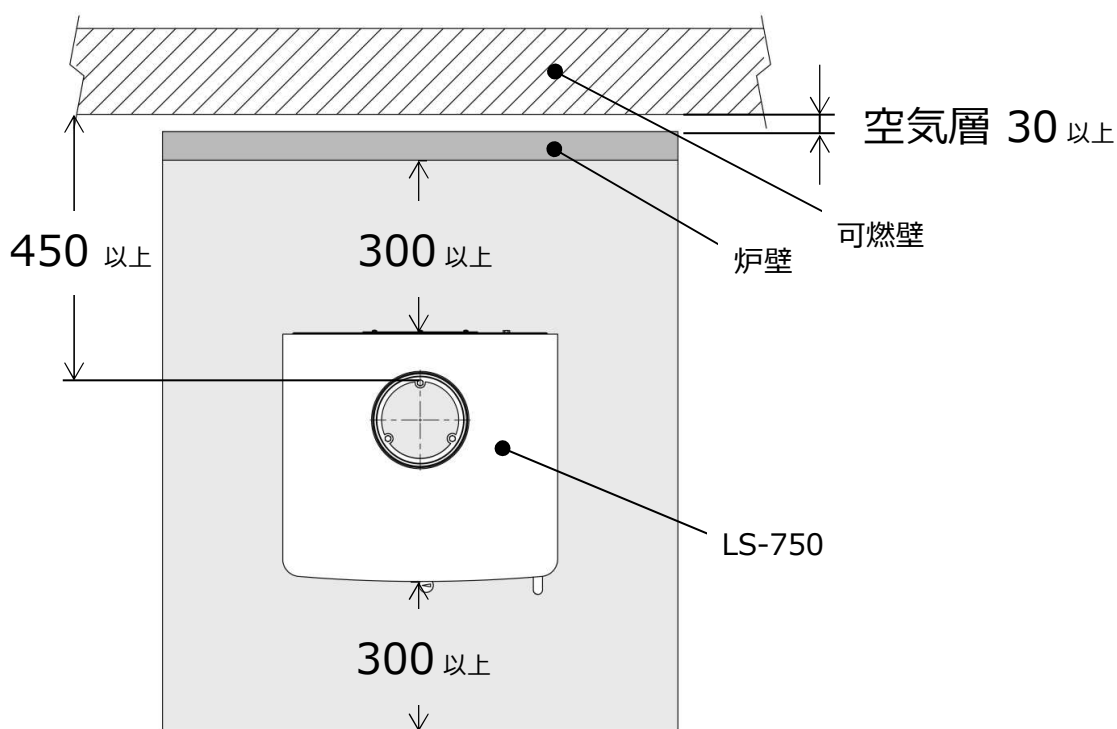


- ❗ 炉壁の素材は、レンガ、金属板等熱を遮断する特定不燃材料とします（炉壁の厚さは不問）
- ❗ 炉壁高さ遵守
- ❗ 可燃壁と炉壁との間には必ず30mm以上の空気層を設けてください
- ❗ 炉壁は必ず安定して自立できる構造のこと

# LS-750（煙突位置上部）の 設置最低壁面離隔距離



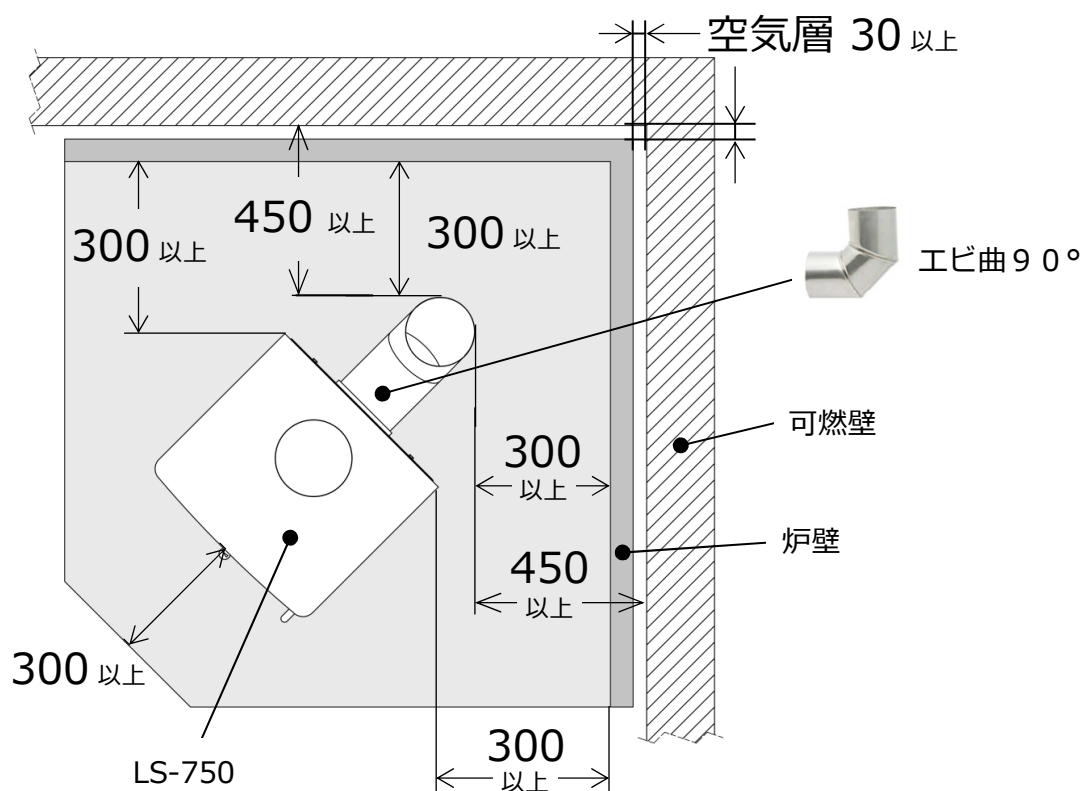
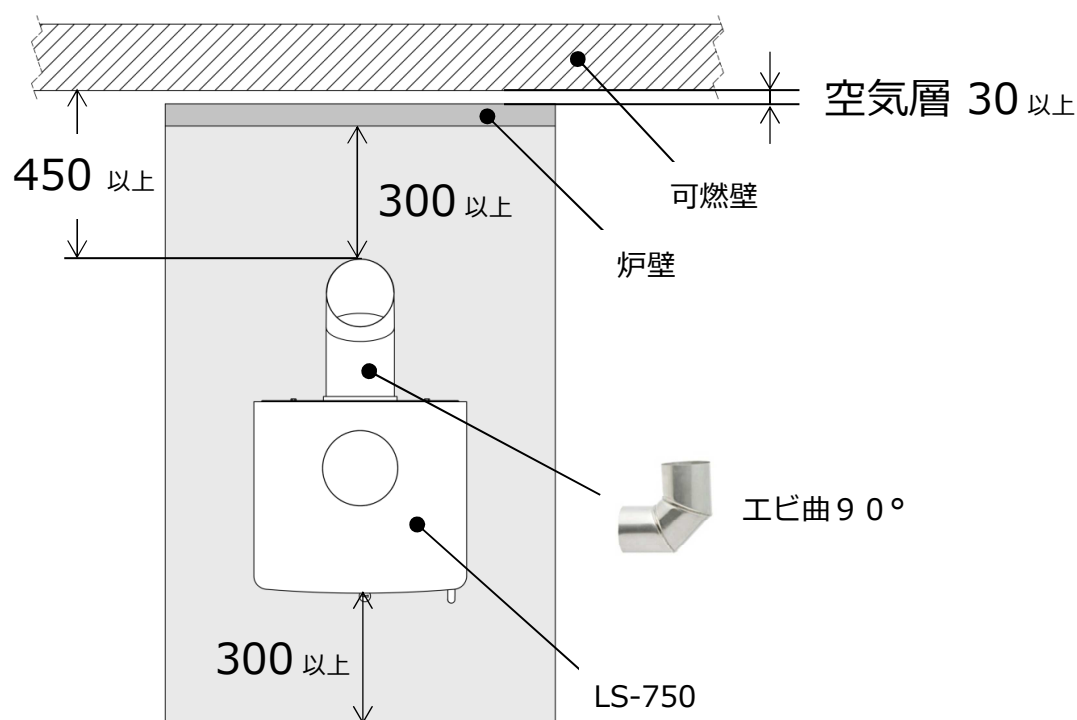
必ず指定距離以上の  
離隔を設けてください



## LS-750（煙突位置後部）の 設置最低壁面離隔距離



必ず指定距離以上の  
離隔を設けてください



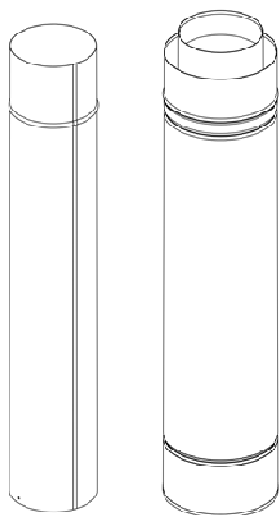
# 正しい煙突の設置

## STEP 1 使用する煙突の確認

LS-750の使用煙突径は  $\phi 150\text{mm}$  です。（煙突・関連部材別売）

煙突は“ハゼ折り煙突”、“溶接煙突”の2種類ありますので、いずれかをお求めください。

二重煙突は外径 $\phi 200\text{mm}$ です。壁貫通部材や煙突支持部材は $\phi 200\text{mm}$ 用を使用します。



シングル

二重

### ハゼ折り煙突 $\phi 150\text{mm}$

#### ●シングル：

ステンレスSUS430 厚さ0.4mm

※差込み接続

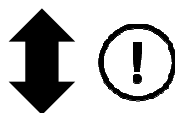
#### ●二重：

内筒・外筒／ステンレスSUS430 厚さ0.4mm

※外径 =  $\phi 200\text{mm}$

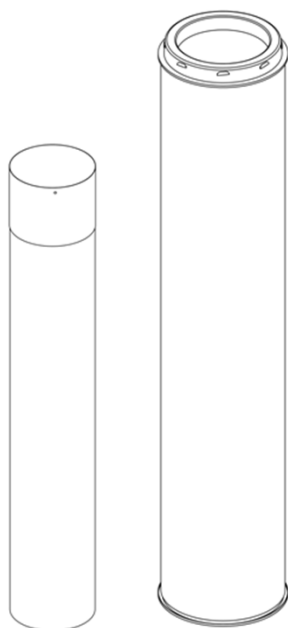
※空気層断熱式

※差込み接続



ハゼ折り煙突と溶接煙突は互換性がありません

混ぜて使用しないでください



シングル

二重

### 溶接煙突 $\phi 150\text{mm}$

#### ●シングル：

ステンレスSUS304 厚さ0.5mm

※差込み接続

#### ●二重：

内筒・外筒／ステンレスSUS304 厚さ0.5mm

※外径 =  $\phi 200\text{mm}$

※断熱材入り

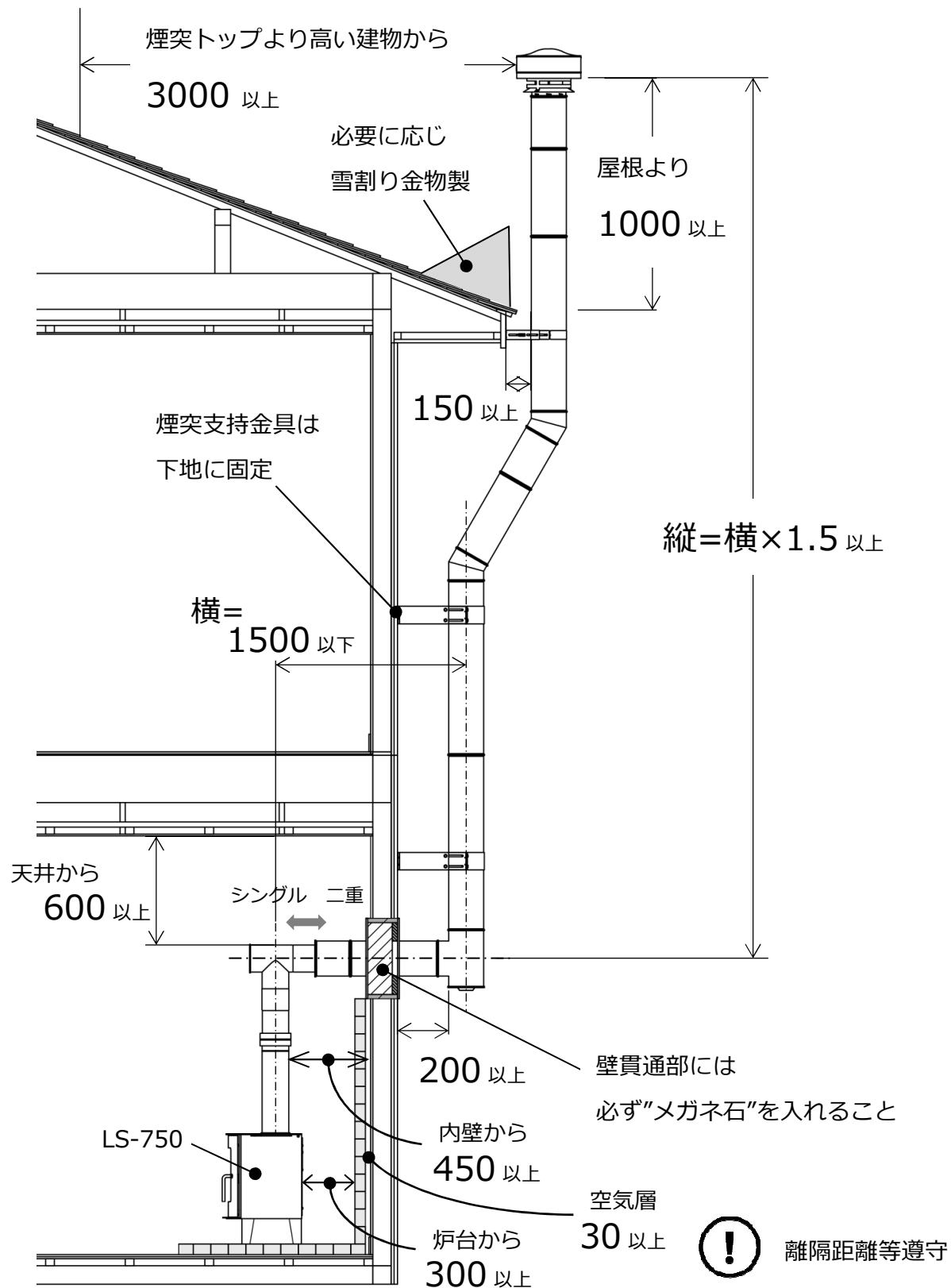
（セラミックファイバーブランケット）

※差込み+ロック接続

## STEP 2 煙突壁出し設置基準の確認

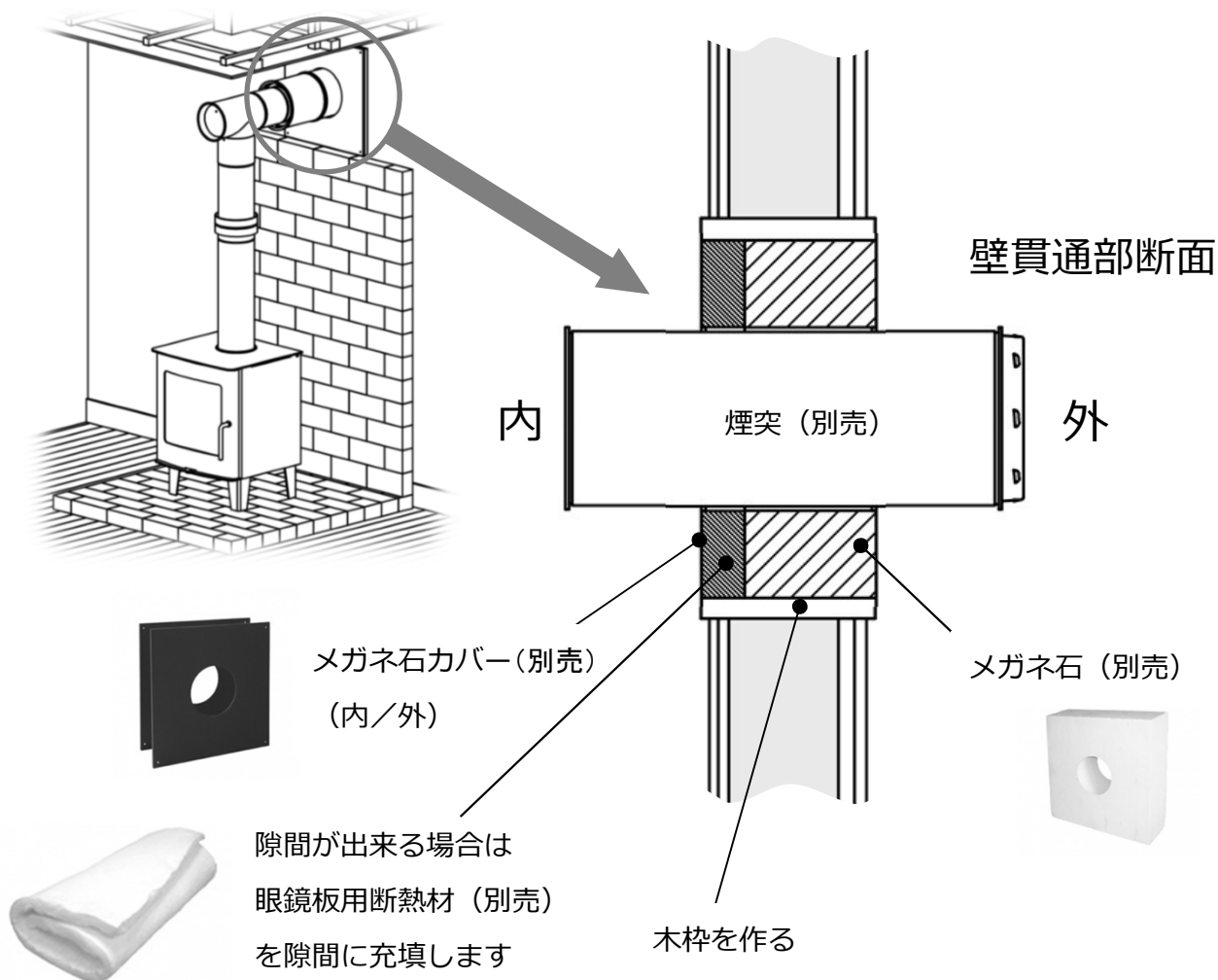
煙突は下記の基準寸法等を遵守のうえ設置を行ってください。

お守りいただかない場合、燃焼不良、煙の逆流、火災などが起こる可能性があります。



### STEP 3 壁貫通部の工事

煙突壁貫通部には必ずメガネ石をセットし、壁内部が高温にならないよう適切に施工してください。メガネ石を用いない安易な施工は火災に繋がります。



- ❗ メガネ石の厚さは壁厚以上となるようにし、もし隙間が出来る場合は隙間部分に眼鏡板用断熱材を充填して煙突と可燃物との間を完全に埋めてください。
- ❗ メガネ石カバー周りは耐熱コーキングを施し、壁に雨水が入り込まないように適切に処理してください。
- ❗ 既存住宅に施工する場合は、壁を開口する際に間柱や筋交い、配管・ケーブル類を切断しないよう十分にご注意ください。
- ⊘ メガネ石の縦横を絶対にカットしないこと。  
メガネ石は安全上不可欠な縦横寸法になっております。

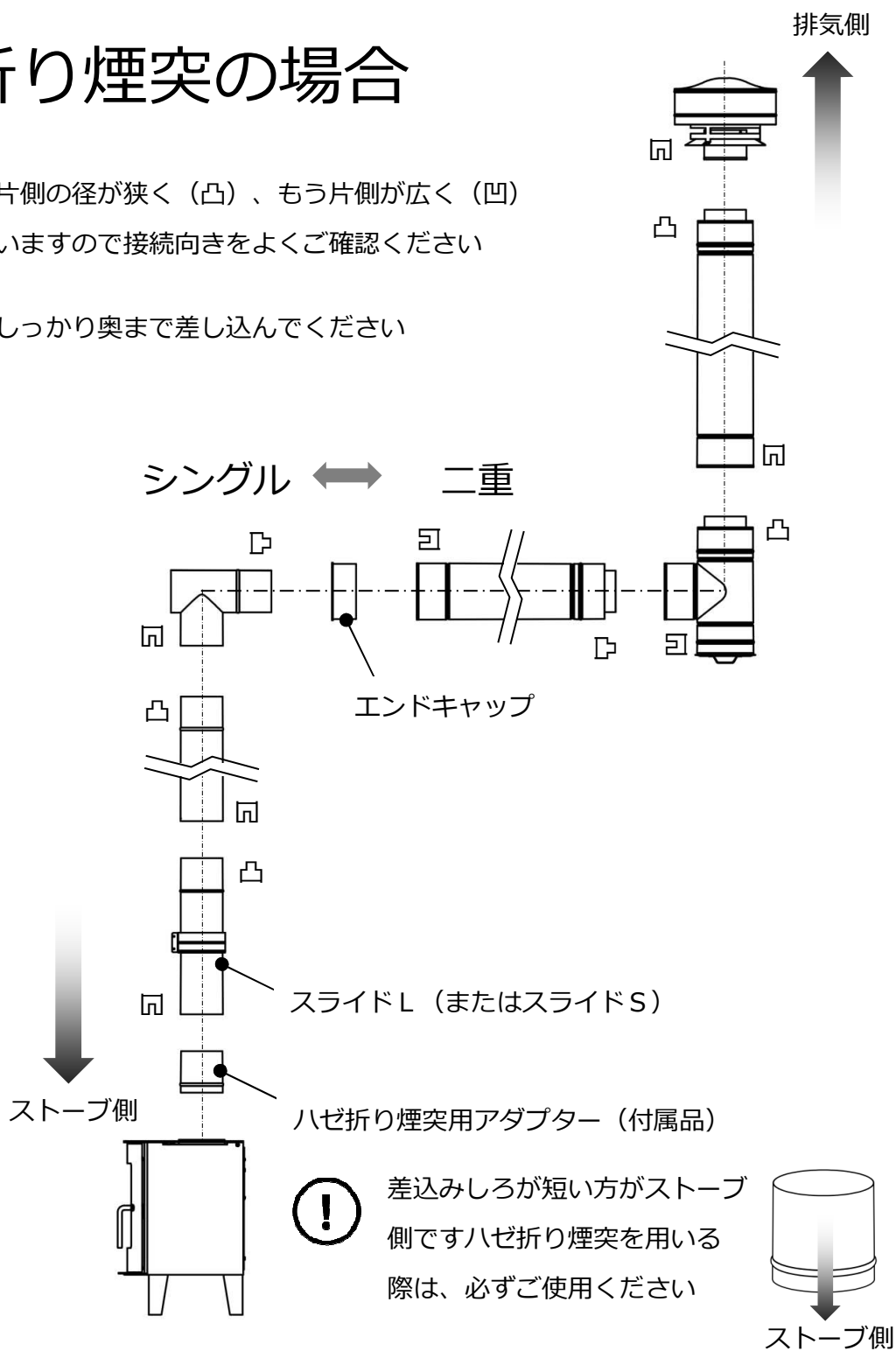
## STEP 4 煙突を設置する

煙突の接続向きを誤らないよう接続向きをご確認のうえ施工をお願いします。  
接続向きを誤ると途中で煙突が接続できない等のトラブルになります。

### ハゼ折り煙突の場合

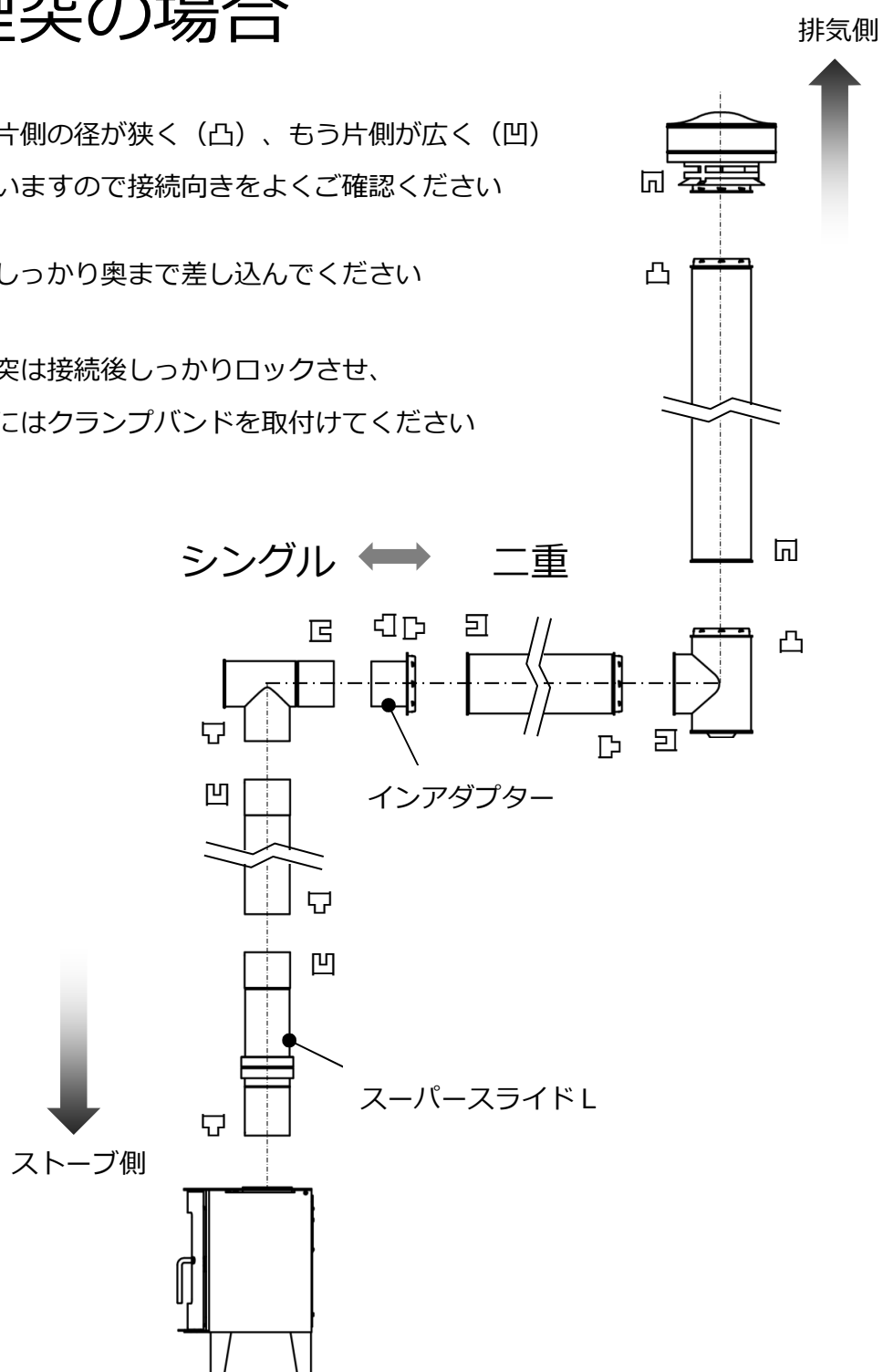
❗ 煙突は片側の径が狭く（凸）、もう片側が広く（凹）  
なっていますので接続向きをよくご確認ください

❗ 煙突はしっかり奥まで差し込んでください



# 溶接煙突の場合

- ❗ 煙突は片側の径が狭く（凸）、もう片側が広く（凹）  
なっていますので接続向きをよくご確認ください
- ❗ 煙突はしっかり奥まで差し込んでください
- ❗ 二重煙突は接続後しっかりロックさせ、  
接続部にはクランプバンドを取付けてください



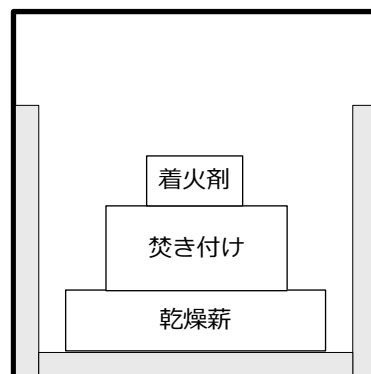
※溶接煙突の場合、  
付属のハゼ折り煙突用アダプターは使  
用いたしません

# 薪ストーブの操作と焚き方

## STEP 1 薪のセット

薪ストーブ、煙突の設置が完了したらいよいよ薪ストーブを使ってみましょう。  
ここでは初心者でも失敗しにくい薪ストーブの焚き方をご紹介します。

- 1 まず乾燥薪を数本炉内に置きます。（1～2本）
- 2 乾燥薪の上に焚き付けを適量置きます。  
慣れないうちは多めに入れたほうがよいでしょう。
- 3 焚き付けの上に着火剤を置きます。（1～2片）



炉内薪セットイメージ

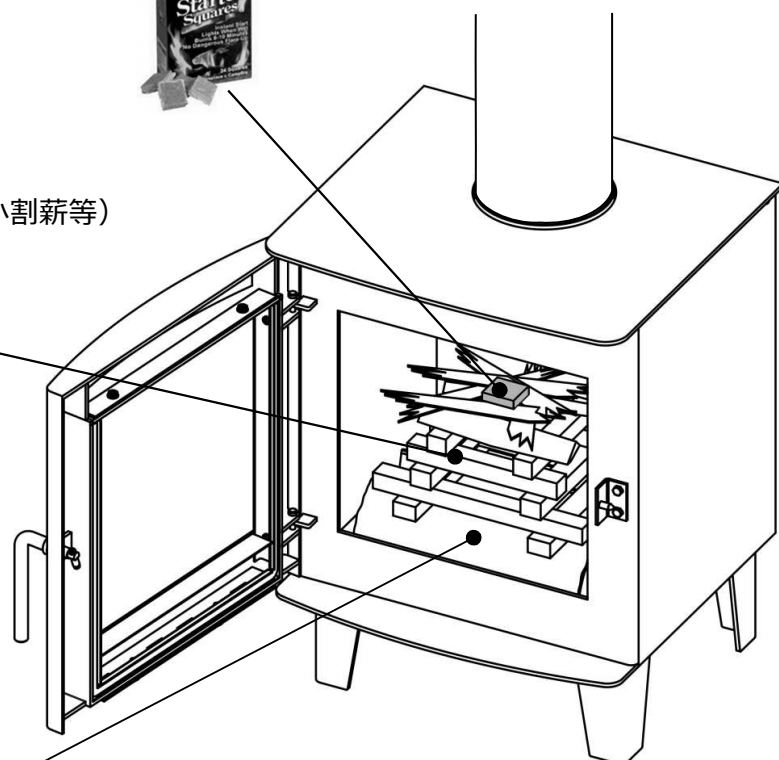
着火材 - 1～2片  
または丸めた新聞紙等



焚き付け - 適量  
(スギの木っ端や燃えやすい小割薪等)



乾燥薪 - 1～2本  
(ナラ、クヌギ等広葉樹)

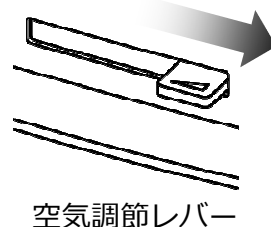


## STEP 2 着火～安定燃焼

薪への着火から安定燃焼までを解説いたします。

薪ストーブを操作する際は必ず皮手袋等を着用し、やけど等に十分ご注意ください。

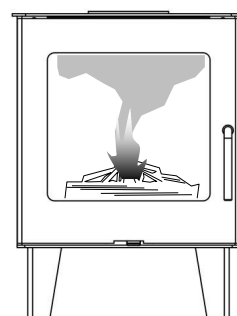
- 1 LS-750の空気調節レバーを右にスライドさせ空気供給量を最大にしておきます。



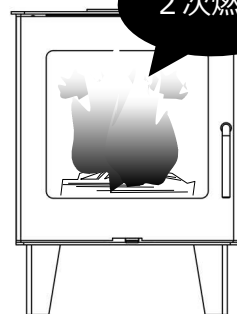
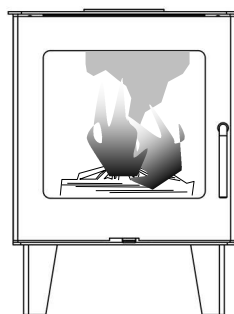
- 2 マッチ、ライター、トーチバーナー等で着火材に点火します。  
着火材から炎が上がったら素早く扉を閉めてください。



焚き始めは不完全燃焼により煙が多く発生しがちです  
むやみに扉を開閉すると煙が室内に逆流する場合があります。極力扉は開けないようにしましょう

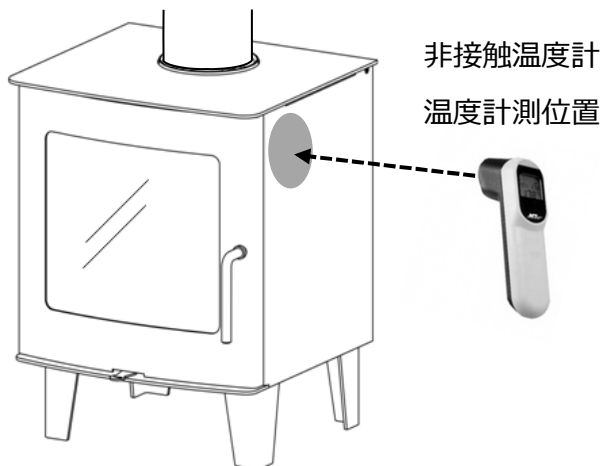


- 3 火が着火材→焚き付け→乾燥薪の順に付き、  
炎が徐々に大きくなっていきます。  
煙突が温まってくると上昇気流（ドラフト効果）が発生し、煙は自然と煙突に吸上げられるようになります。  
また、本体が温まると2次空気吹出し口付近でも炎（2次燃焼）が起こります。



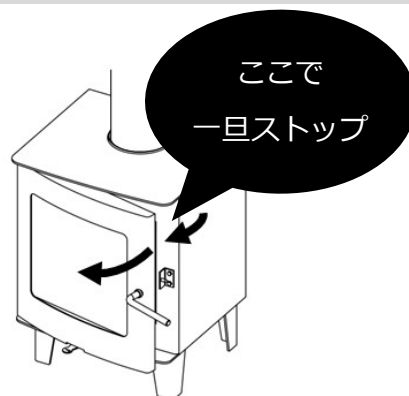
- 4 LS-750付属の非接触温度計で温度計測します。温度計測位置は、LS-350本体側面上部の扉近辺です。  
（左側面、右側面どちらでも可。）  
本体温度が**300℃前後**になるまで様子を見ます。

非接触温度計の使用方法是、非接触温度計のパッケージ・取扱説明書にてご確認ください。



- 5 燃焼中に扉を開けるときは、まずゆっくりと少しだけ開け、2テンポほど間を置いてから大きく開きましょう。

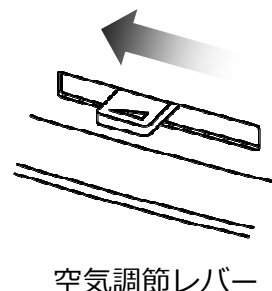
❗ 急速に扉を全開にすると、炎や灰が手前に出てきたり煙が室内に逆流する場合があります



- 6 本体温度を250～320℃の範囲内で安定させます。

320℃をオーバーした場合は空気調節レバーを任意で絞ってください。

空気供給量を絞ると火力が落ち、本体温度が下がります。炎がゆったりと、滑らかに揺らぐ状態を維持してください。



⊘ 320℃オーバーの状態で長時間放置しないこと  
薪ストーブ本体に歪み等が発生する場合があります  
また、火災等の思わぬ事故に繋がるおそれがございます

⊘ 150℃以下の状態で長時間放置しないこと  
薪が不完全燃焼となり、煙が多量に発生したり、ガラスがススけてしまう等の問題が発生します  
また、思わぬ事故につながる繋がるおそれがございます

- 7 傾合いをみて乾燥薪を追加投入し、6の手順を繰り返します。

⊘ 薪追加投入後に空気供給量を絞り過ぎないこと  
薪の追加投入直後に空気供給量を絞り過ぎると不完全燃焼になります  
酸欠状態で不完全燃焼が続くとバックパフという瞬間的な爆発現象が起こる  
おそれがあり危険です。ご注意ください

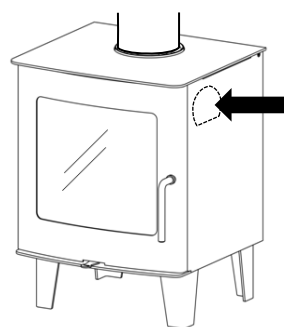
## Check!

薪ストーブ本体温度は別売のストーブ温度計 #701でも計測できます。

(バイメタル式温度計マグネット貼付タイプ)



ストーブ温度計#701のお求めは  
ホンマ製作所オンラインショッピングで！  
<https://www.honma-seisakusyo.jp>

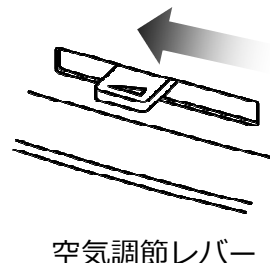


RUTLAND  
ストーブ温度計  
#701

## STEP 3 長時間燃焼

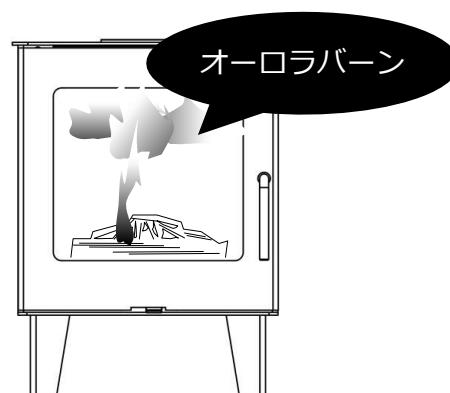
薪が長時間燃焼するポイントは、①乾燥薪にしっかり火が回っていること、②薪ストーブ本体が250℃～320℃の高温になっていること、③極力少ない空気で燃焼させることです。

- STEP 2 のとおり薪ストーブを安定燃焼まで進めたら空気調節レバーを左にスライドさせて、薪からの炎が出るか出ないかの位置まで燃焼空気を絞ります。



空気調節レバー

- 燃焼空気がほぼ2次空気のみとなることで、オーロラのように美しく漂う2次燃焼の炎が発生。いわゆるオーロラバーン状態になります。  
(薪からは炎がほとんど出ず、炭火状態(熾火)で燃焼します。)



- 燃焼状態を維持。本体温度が低下してきたら空気調節レバーで調整してください。

## STEP 4 消火

薪ストーブはエアコンやファンヒーターのようにボタン1つでの消火はできません。薪を燃やしきることが薪ストーブ唯一の消火方法です。

- 空気調節レバーを全閉して燃焼空気を遮断します。  
薪がゆっくりと燃え尽き、消火となります。

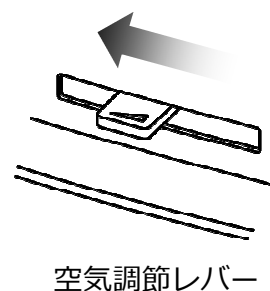


消火のために燃焼中の薪に水を掛けないこと

本体等破損の原因になります。また、大変危険です



燃焼中の薪を薪ストーブから取り出さないこと



空気調節レバー

## STEP 5 灰の処理

薪の燃焼灰はアルカリ成分の微粒子です。畑の土壌改良剤、掃除用クレンザー、融雪剤等として幅広い使い道がありますので有効活用しましょう。

- 1 薪ストーブ炉内にある程度の灰が溜まったら金属製のスコップ等で取り出します。  
全ては取り出さず炉内に2～3cmほど残してください。  
灰をある程度敷いておくことで、薪の火持ちが良くなります。また、薪ストーブの底板を熱から保護する断熱材の役目も果たします。



灰が完全に冷却していることを確認してください



灰を取り出す際に使用するスコップは金属製等の不燃製品をご利用ください

- 
- 2 取り出した灰はフタ付の金属ペール缶等の密閉容器で保管してください。



燃焼灰は可燃性の容器に入れないこと



# メンテナンス

## 煙突掃除

薪ストーブは年1回以上の煙突掃除が必須です。（掃除頻度は使用状況等によります）  
煙突内は定期的にチェックし、ススが3mm以上堆積していたら掃除を行いましょう。

### 1 煙突掃除に必要な道具を用意します。

作業中はススが飛散する可能性がありますので  
汚れてもよい服装で臨んでください。



### 使用部品・工具・道具

- ★ ワイヤーブラシ φ150用
- ★ 煙突掃除棒または煙突掃除器
- 防塵ゴーグル
- 防塵マスクまたは通常マスク
- ビニール袋
- ゴムバンドまたはヒモ類
- ハサミまたはカッター
- 新聞紙
- 必要に応じ脚立、はしご等

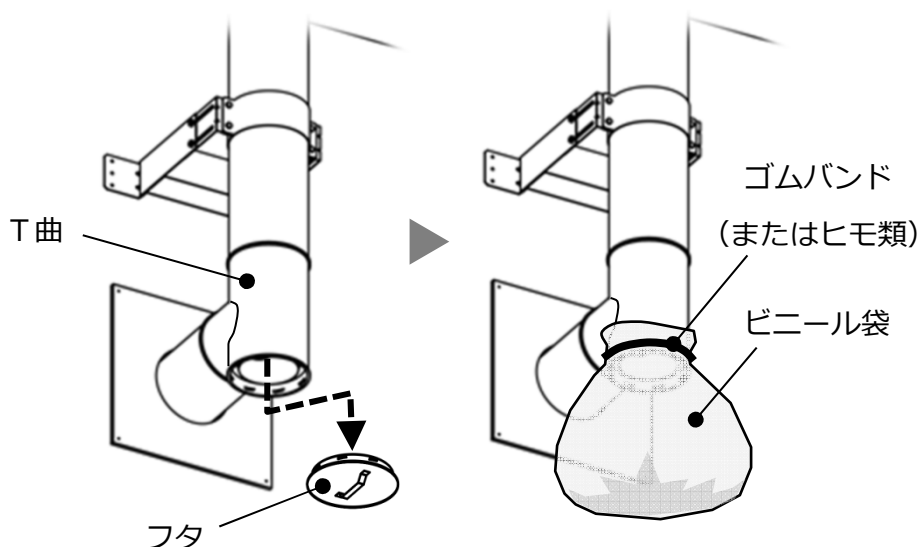


上記★印商品はホンマ製作所オンライン  
ショッピングでお求めいただけます

<https://www.honma-seisakusho.jp>

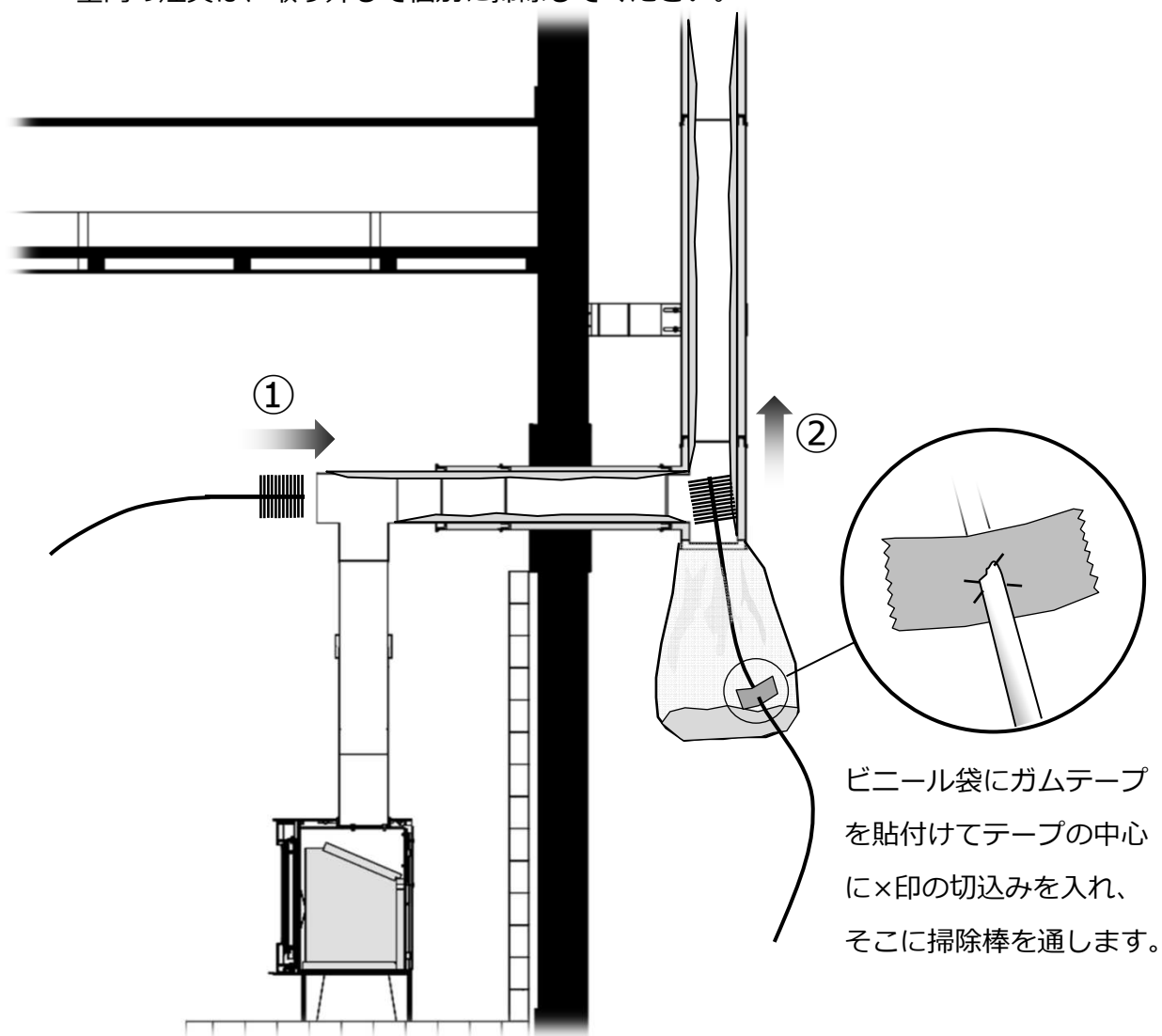
### 2 屋外のT曲に付いているフタを外し、煙突にビニール袋を取付けます。

ビニール袋はゴムバンドまたはヒモ類を使用して煙突に固定してください。



- 3 室内にススが舞っても室内が汚れないように、新聞紙を床に敷いたり壁に貼るなどして養生します。

- 4 煙突掃除棒または煙突掃除器にワイヤーブラシをセットし、煙突内に挿入します。  
擦り落としたススはビニール袋に落とします。  
室内の煙突は、取り外して個別に掃除してください。



- 5 煙突トップを取り外して個別に掃除します。

せっかく煙突内を綺麗にしても煙突トップにススが溜まっていると排気不良で煙が室内に逆流する等のトラブルが発生してしまいます。煙突トップも確実に掃除しましょう。



高所作業になりますので、安全には十分ご注意ください



## 耐熱ガラスのクリーニング

耐熱ガラスに付いた汚れは専用のガラスクリーナーで落とすことが可能です。



右記★印商品はホンマ製作所オンライン  
ショッピングでお求めいただけます  
<https://www.honma-seisakusyo.jp>

### 使用部品・工具・道具

- ★ ガラスクリーナー #82
- ★ コンディショニング  
ガラスクリーナー #84
- 汚れてもよい布巾等
- 新聞紙
- 必要に応じマイナスドライバー

#### 1 LS-750の扉を外します。

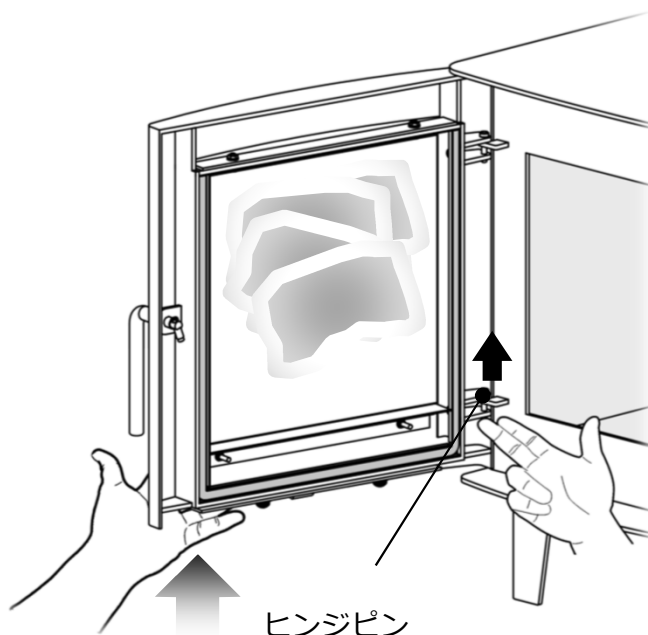
扉の左下を左手で支えて上に持ち  
上げながら、右手でヒンジピンを  
下から押し上げます。  
ヒンジピンの頭が浮きます。

#### 2 浮かせたヒンジピンの頭を指でつまみ、ヒンジピンを抜き取ります。 またはマイナスドライバーをヒンジピンの頭下から突き上げて抜く方法もあります。

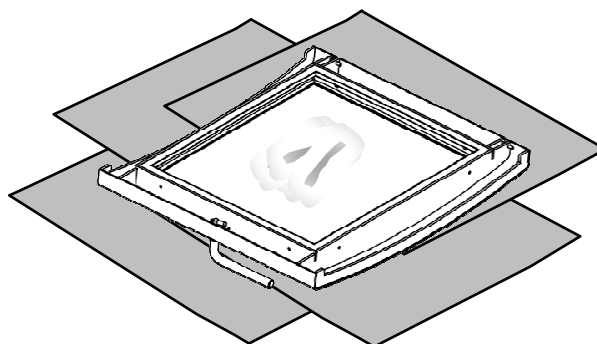
#### 3 もう片方のヒンジピンも抜き取り 慎重に扉を外します。

❗ 扉の落下には十分ご注意ください

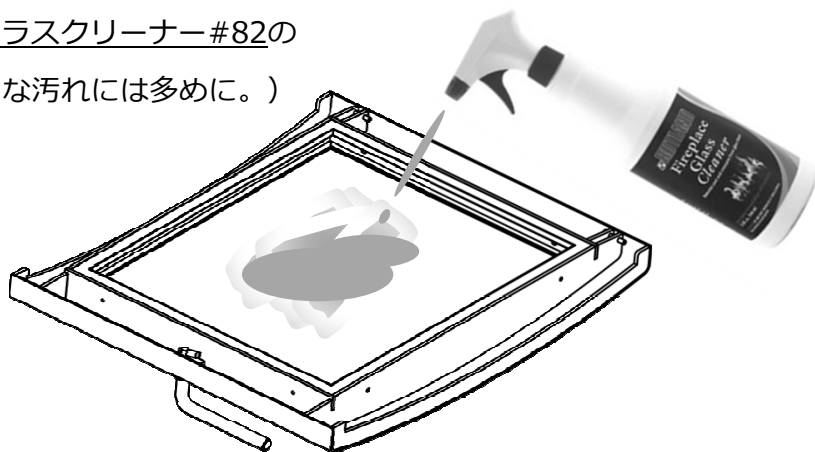
❗ ヒンジピン紛失注意



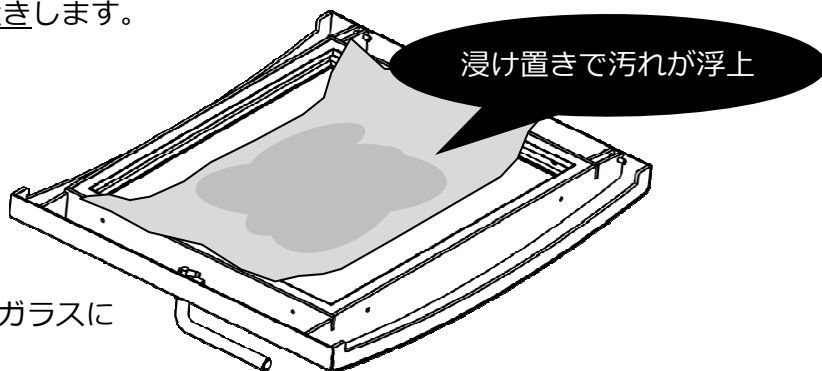
#### 4 床に新聞紙を敷き、扉を置きます。



- 5 耐熱ガラスの汚れ部分にガラスクリーナー#82の液を吹き付けます。（頑固な汚れには多めに。）

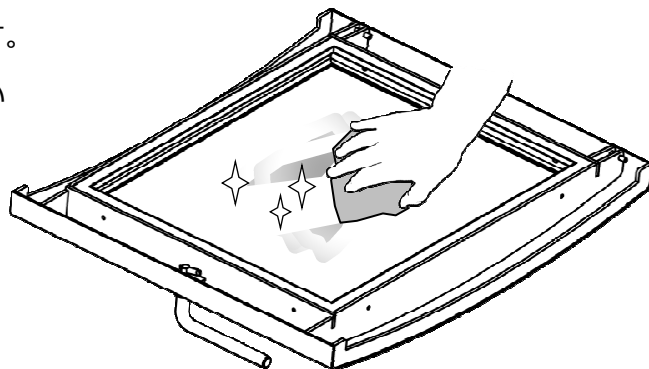


- 6 ガラスクリーナー#82の液を汚れ部分全体に伸ばし、上から新聞紙を置きます。  
そのまま5～10分浸け置きします。



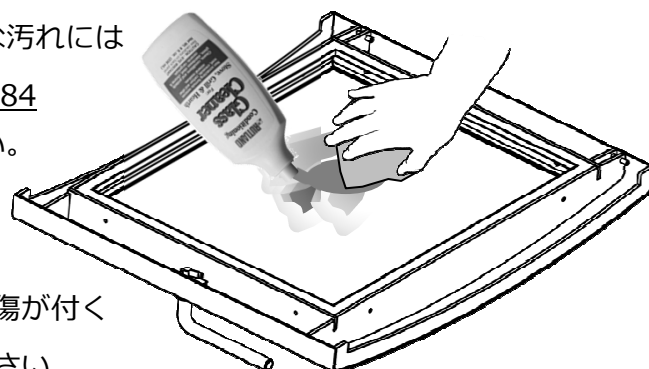
※新聞紙を置くことで  
液ダレを予防でき、耐熱ガラスに  
液がよく浸透します

- 7 布巾で耐熱ガラスの汚れを拭き取ります。  
浸け置き時間が短いと汚れが落ちにくい  
場合がございます。



❗ 擦りすぎによる耐熱ガラスの  
破損にご注意ください

- 8 ガラスクリーナー#82で落ちない頑固な汚れには  
コンディショニングガラスクリーナー#84  
を適量付け布巾で擦り落としてください。



❗ クリーム液は研磨剤配合です  
強く擦りすぎると耐熱ガラスに傷が付く  
おそれがあります。ご注意ください

## ガスケットロープ、耐熱ガラスの交換

ガスケットロープの劣化（硬化、切れ、繊維崩れ）や耐熱ガラスの破損が起こったら交換が必要です。耐熱ガラスが破損したままですと危険ですのでご使用を中止してください。



右記★印商品はホンマ製作所オンライン  
ショッピングでお求めいただけます  
<https://www.honma-seisakusho.jp>

### 使用部品・工具・道具

- ★ ガスケットロープ  $\varnothing 12\text{mm} \times 2\text{m}$
- ★ ガスケットロープ 巾 $15\text{mm} \times 2\text{m}$
- ★ 耐火セメント ガスケット用 #77E
- ★ 耐熱ガラス
- 新聞紙
- スパナ
- プラスドライバー
- 必要に応じマイナスドライバー

#### 1 LS-750の扉を外します。

扉の左下部を持ち上げながら、  
ヒンジピンを下から押し上げると  
ヒンジピンの頭が浮きます。

2 浮かせたヒンジピンの頭を指でつまみ、ヒンジピンを抜き取ります。  
またはマイナスドライバーをヒンジピンの頭下から突き上げて抜く方法もあります。

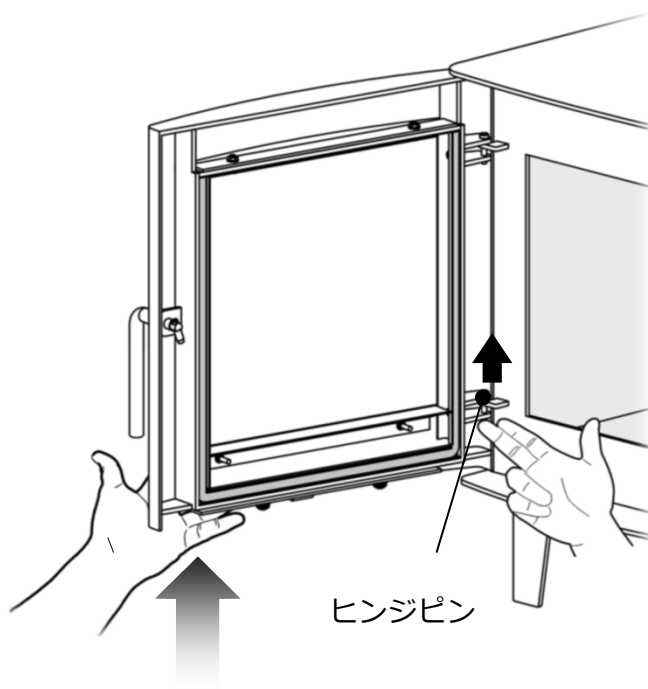
3 もう片方のヒンジピンも抜き取り  
慎重に扉を外します。



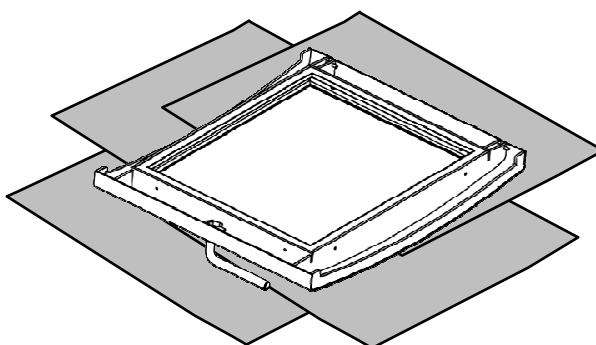
扉の落下には十分ご注意ください



ヒンジピンの紛失注意

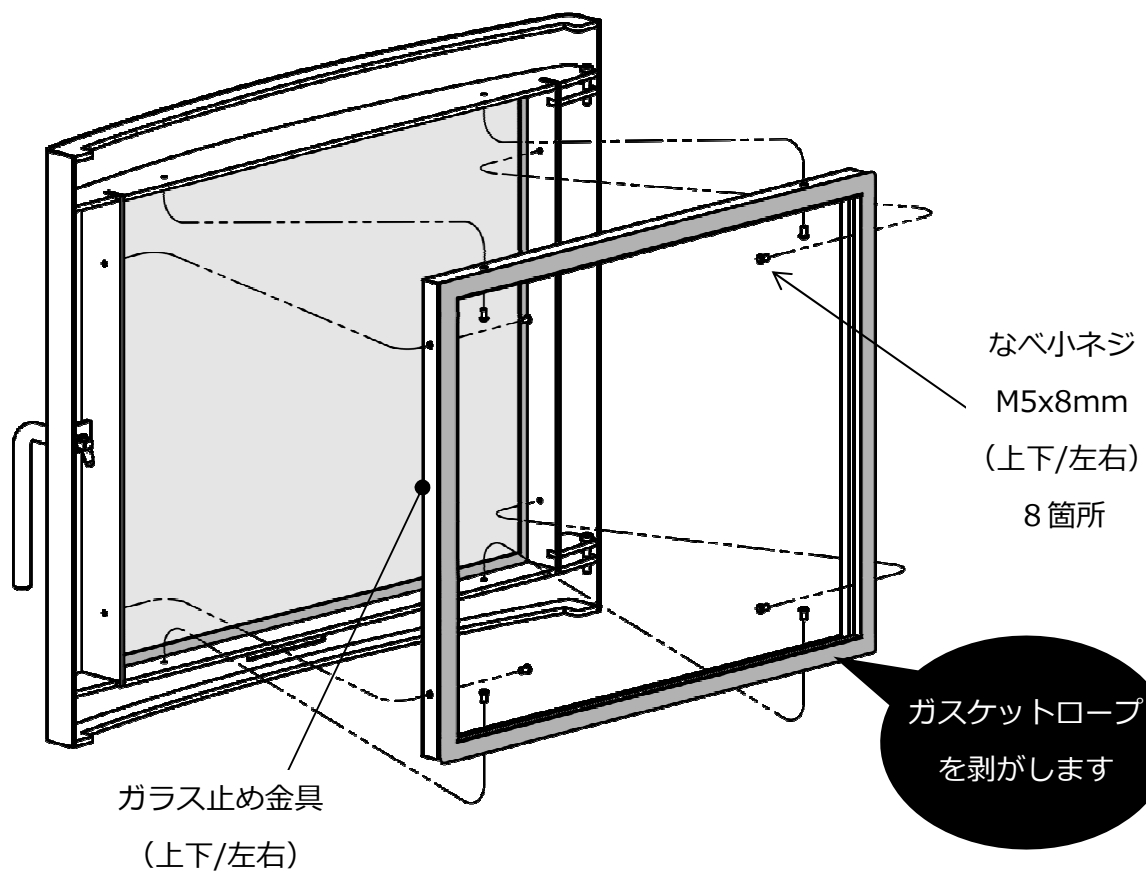


4 床に新聞紙を敷き、扉を置きます。

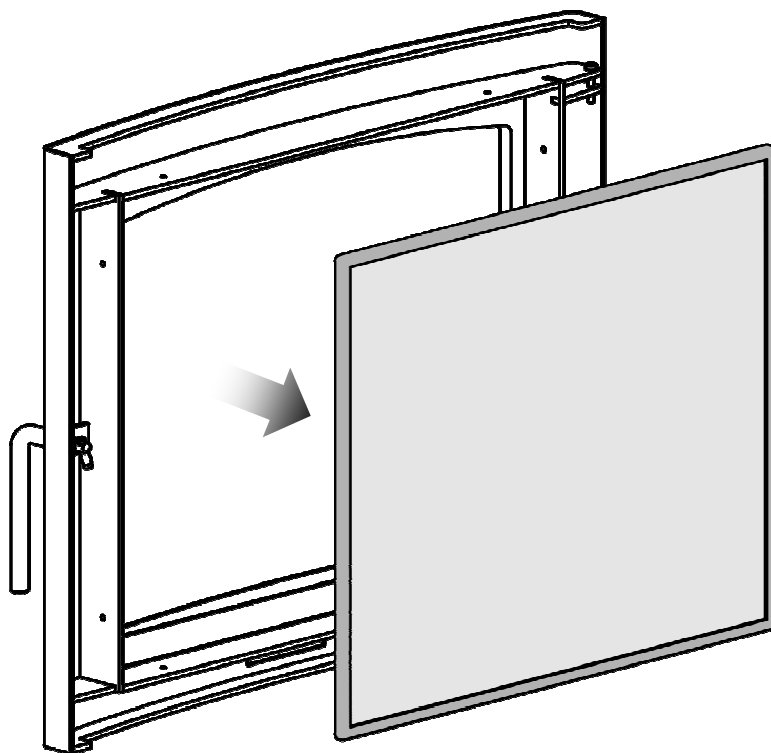


## 5 プラスドライバーを使い、扉からガラス止め金具を外します。

扉部のガスケットロープは上下左右のガラス止め金具に接着されていますので剥がしてください。接着剤カスはマイナスドライバーでこそげ落としてください。

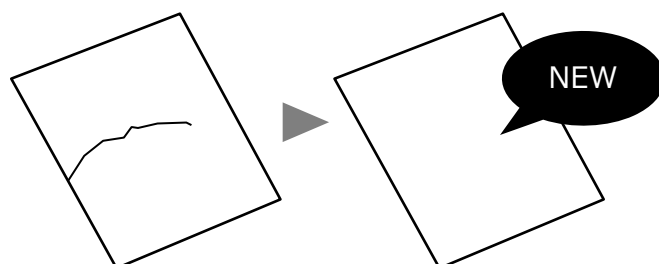


## 6 ガラス止め金具を外せると、耐熱ガラスが取り外せるようになります。



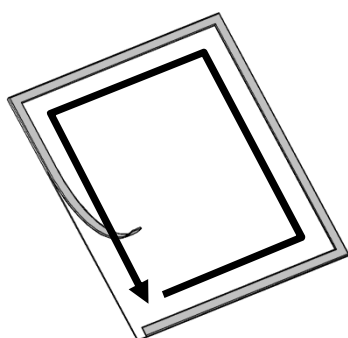
8 耐熱ガラスからガスケットロープを剥がします。

9 耐熱ガラスを新しいものに取り換えます。（耐熱ガラスが破損している場合）



耐熱ガラス取り扱い注意

10 耐熱ガラスのフチに新しいガスケットロープを貼ります。



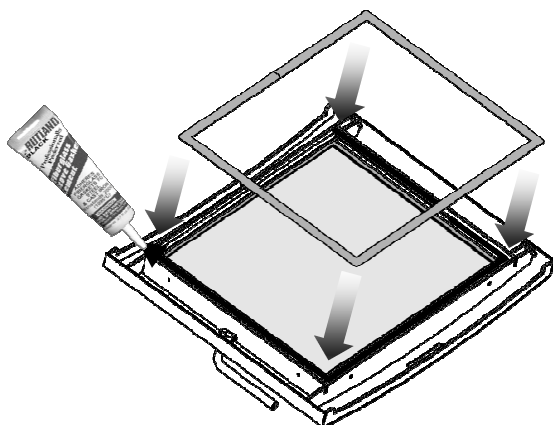
ガラス用のガスケットロープは裏面がシールになっており、簡単に貼り付けできます。  
耐熱ガラス周りに隙間が出来ないようにしてください。

11 耐熱ガラス、ガラス止め金具を逆手順で付け直します。

耐熱ガラスはガスケットロープを貼った面を扉側にしてください。

12 扉周りのガスケットロープを交換します。

ロープ溝に沿って耐火セメント ガスケット用 #77Eを適量敷いてから、ガスケットロープ Ø12mmを置き、しっかりとロープを溝に押し付けて接着してください。



耐火セメントの量が足りないとロープが剥がれてしまう場合がございます



耐火セメントは乾燥まで数時間～1日かかります

13 薪ストーブ本体に扉を付け直します。

## 炉内レンガの交換

炉内レンガが破損したら次の手順で交換を行ってください。

破損した状態で薪ストーブを使用すると本来の性能が損なわれてしまいます。



右記★印商品はホンマ製作所オンライン  
ショッピングでお求めいただけます  
<https://www.honma-seisakusyo.jp>

### 使用部品・工具・道具

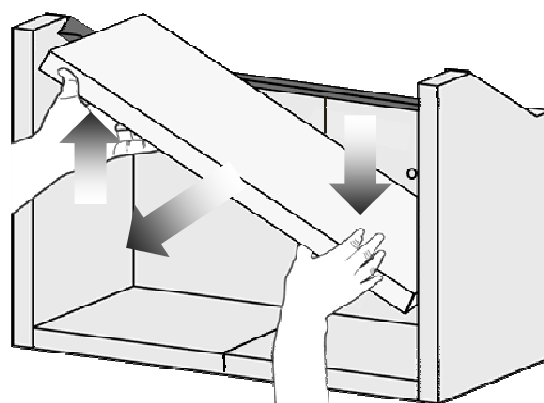
- ★ 炉内レンガ
- 軍手等の手袋

1 あらかじめ炉内の灰を全て取り除きます。

2 レンガバッフル板とブラケットを取り出します。

横向きになっているレンガバッフル板は炉内で斜めにし、引き出します。

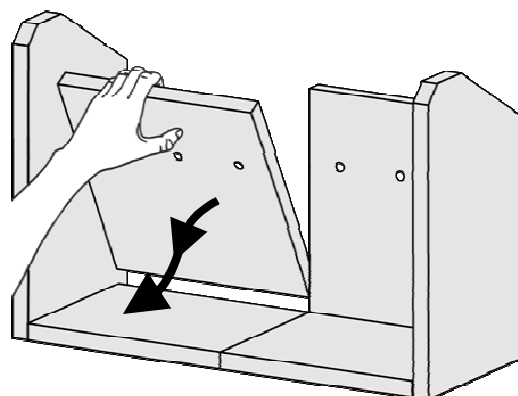
レンガバッフル板を片側だけ持ち上げ  
斜めにし、  
下に降ろしてから引き出す



3 左右の背面板を取り出します。

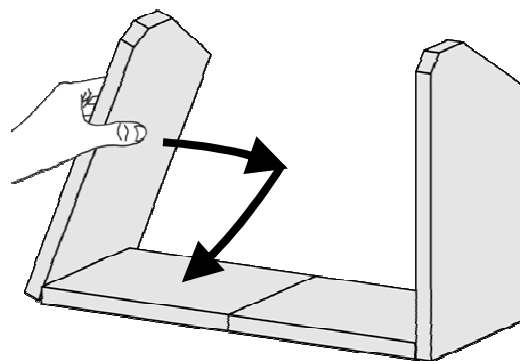
上に持ち上げて手前側に引き出します。

レンガ背面板は左右兼用品ですが、  
左右でレンガ背面板の取付向きが異  
なります！  
レンガ背面板を付か直すときは、ス  
トーブ本体の2次空気吹出し口の穴  
と、レンガ背面板の穴がぴったり合  
う向きで取り付けてください！



#### 4 左右の側面板を取り出します。

側面板を片側ずつ、底板に向かって傾けてから引き出します。



---

#### 5 左右の底板を取り出します。

---

#### 6 新しい炉内レンガを逆手順で組み直してください。



レンガは衝撃で破損する場合がございます。

取扱いには十分ご注意ください。

破損等による無償交換には応じかねますのでご了承ください。



レンガ取付け時に少々の欠けが起こる場合がございますが  
性能上問題ございません。

## 本体のクリーニング

LS-750本体はご使用により汚れたり錆が発生することがあります。  
定期的に本体をクリーニングすることで末永くご愛用いただけます。



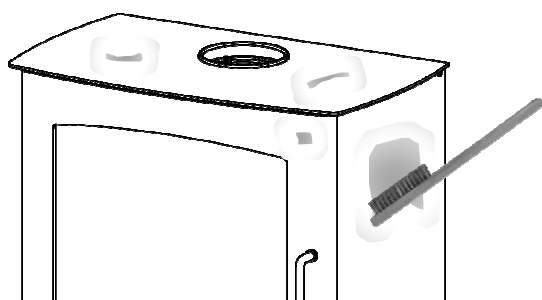
右記★印商品はホンマ製作所オンライン  
ショッピングでお求めいただけます  
<https://www.honma-seisakusyo.jp>

### 使用部品・工具・道具

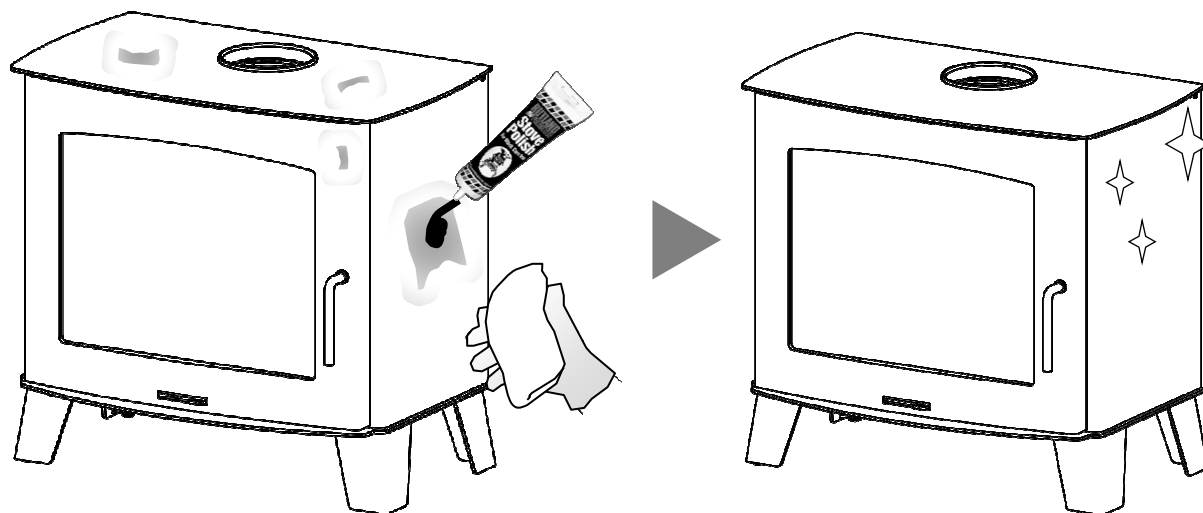
- ★ ストープポリッシュ #70
- 金属ブラシ
- 汚れてもよい布巾等
- ビニール手袋

- 1 本体に付着している灰やホコリ等を乾いた布で拭き取ります。

- 2 錆が出ているところは金属ブラシでよく擦り落とします。



- 3 本体にストープポリッシュ #70のクリームを出し、布巾で全体に伸ばして磨きます。  
ストープポリッシュ使用後は本体に光沢が出て重厚感が増す仕上がりとなります。



# 困ったときのQ&A

## Q 1 薪ストーブ本体から煙が逆流する！

1. 煙突トップの周囲に壁等の障害物がないですか？

煙突を屋根上（または障害物）より高く上げ、風の影響を受けないようにしましょう。

（参考：P.14）

2. 煙突が詰まっていますか？

煙突内だけでなく煙突トップも確認して溜まったススをしっかり落としてください。

（参考：P.23）

3. 室内で換気扇（排気ファン）が作動していませんか？

室内（特に高気密の部屋）で換気扇（排気ファン）が作動していると、室内の気圧が外気圧を下回り負圧になる場合があります。負圧の室内で薪ストーブを使用すると、「煙突から空気を吸い、室内に煙を吐く」という吸排気の逆転現象が起きてしまいます。

一時的に換気扇（排気ファン）を止めたり、少し窓や換気口を開けて様子を見てください。

4. 強風の影響を受けていませんか？

風が強い場所では、煙突トップに風が吹き込み排煙を阻害することがあります。

逆風対策の煙突トップに変えることで改善する場合があります。お問い合わせください。

5. 煙突の横引きが長すぎませんか？

煙突の横引きが長すぎると排煙効率が大きく低下します。結果として煙が逆流する場合があります。煙突の横引きは1.5m以下になるようにしましょう。

（参考：P.14）

6. 薪の乾燥が不十分ではないですか？

水分を含んだ薪を燃やすと不完全燃焼になり、薪ストーブの温度が上がらず煙が多く発生して逆流を起こすことがあります。（薪が燻ると相当量の煙が発生します）

---

## Q 2 薪がうまく燃えない！

いきなり太い薪に着火しようとしていませんか？

最初は火が付きやすく燃えやすいものから順に燃やすようにしましょう。

太い薪を燃やすのは炎が十分に大きく育ってからです。

（参考：P.18）

### Q 3 薪ストーブから異臭がする！

新品の薪ストーブを初焚きする際、薪ストーブ本体に塗られた耐熱塗料が焼けて臭いが出ます。また、うっすらと白い煙が本体から出る場合がございますが、異常ではありません。本体温度300℃前後の高温で1時間ほど燃焼しますと余分が焼けきり症状がおさまりますので換気しながらご使用ください。

### Q 4 煙突内にベトベトした黒い（茶色い）液体が発生した！

これはタールと呼ばれる粘り気のある油液です。燻製臭を伴います。原因は、湿った薪の使用、150℃以下での長時間燃焼、不適切な薪（脂分を多く含むマツ類等）の使用などです。屋外がシングル煙突で設置されている場合は、外気冷却によって煙が冷えてタール発生となる場合もあります。大体は複数の原因が重なって発生します。タールは煙道火災（煙突内での火事）を起こす原因物質ですので、確認されたら早めに除去する必要があります。しかし、ススと違いタールは液状のままではワイヤーブラシで擦ってもまず落ちません。専用の薬品煙突クリーナー #98を用いてまずタールを硬化させてからワイヤーブラシで擦り落とす必要があります。

（参考：P.23）



煙突クリーナー #98



煙突クリーナーはホンマ製作所オンラインショッピングでお求めいただけます  
<https://www.honma-seisakusho.jp>

### Q 5 薪ストーブ本体に歪み、変形が起こった！

薪ストーブ本体は厚い鉄板にて製作されております。鉄は高温や温度差等によって歪みが発生する場合がございますが、これは鉄の性質によるものです。ご使用に支障はございません。

### Q 6 質の良い薪はどこで入手できる？

乾燥済の広葉樹薪はホームセンターやインターネット通販などで購入できます。薪ストーブシーズン中は売り切れることがありますので、次シーズン分を早めに手配されたほうが良いかもしれません。また、お近くの森林組合、造園業者等で倒木や剪定枝等を譲ってもらえる場合もありますのでお問い合わせされてみてはいかがでしょうか。

## Q 7 薪ストーブに適した薪、不適切な薪が分かりません

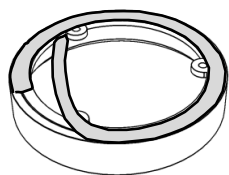
薪ストーブに適切・不適切な薪の一例は下記表の通りです。ご参考ください。

基本的に焚き付けは軽く燃えやすい樹種。乾燥薪はずっしり重い広葉樹が向いています。

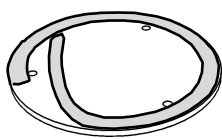
| 用途                | 樹種                                                                                        |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○ 焚き付け            | スギ、ヒノキ、コウヤマキ、クロベ、アスナロ、オニグルミ等                                                              |
| ○ 乾燥薪<br>※ 2年乾燥推奨 | コナラ、クヌギ、アカガシ、シラガシ、イチイガシ、ヤマザクラ、クスノキ、タブノキ、イスノキ、イヌエンジュ、イタヤカエデ、トチノキ、ケヤキ、ブナ、ヤマグワ、マカンバ、アサダ等の広葉樹 |
| × 不適切             | ・ クロマツ、カラマツ等の脂分（ヤニ）を多く含むもの<br>・ 塩分、硫黄分を多く含むもの<br>（果樹類は硫黄消毒されている場合がありますので要注意）              |

## Q 8 煙突口、煙突口カバーのガスケットロープを交換したい

煙突口、煙突口カバーのガスケットロープを交換する場合は耐熱ガラス用のガスケットロープ巾15mmを使用します。長さは1mあれば十分です。ロープを丁度良い長さにカットして煙突口、煙突口カバーの内回りに貼り付けてください。



煙突口



煙突口カバー



ガスケットロープ 巾15mmは  
ホンマ製作所オンラインショッピング  
でお求めいただけます

<https://www.honma-seisakusyo.jp>

## Q 9 地震発生時の対応は？

まずは慌てずに身の安全を確保してください。薪ストーブは本体の重量に加え煙突でも押さえ付けられていますのでそう簡単には倒れません。揺れがおさまったら薪ストーブの空気調節レバーを閉じて消火に入ってください。消火を急ぐ場合は炉内に乾燥砂を入れて窒息状態にする方法があります。乾燥砂は必要に応じ備えておいてください。

地震後は薪ストーブ本体の損傷や位置ずれ、煙突の接続外れ・変形・破損、壁貫通部や煙突支持金具の異常の有無等を確認し、問題ないことを確認してからご使用を再開してください。

余震が続く場合にはご使用を控えてください。

【販売元】



**HONMA**

株式会社 **ホンマ製作所**

〒950-1237 新潟県新潟市南区北田中801番地 8

【TEL】 025-362-1235 【FAX】 025-362-1238

【Eメール】 support@honma-seisakusyo.co.jp

【WEB】 <https://www.honma-seisakusyo.co.jp>

※製品の仕様及び取扱説明書の内容は予告なく変更になる場合がございます。  
※本製品は日本国内で検品済です。行き届いた品質管理を行っておりますが、  
お気付きの点ございましたら弊社までご連絡ください。